外国語コミュニケーションⅠ（幼デ音歯）	教養科目		1年前期	
	1単位		演習	30時間

[教員]：寶壺　貴之

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容	日本では人々がグローバルな社会の中で、より一層幅広い活躍の場を与えられる時代を迎えました。英語の基礎力を養うためには、基本的な４技能(読み・書き・聞き・話す)の習得が必要であると同時に、コミュニケーションをスムーズに行うためにどのようにしたらよいかについても学習する必要があります。本演習では、まず自分が伝えたい・述べたいと思うことを簡単な英語で表現することを学習します。また外国の文化に関する基本的な英文を読むことも学習します。
授業方法	講義を中心に、異文化についての英文を読み進めながら、メディア(映画)を用いた活動も行い、ペアー練習や発表も行いながら授業を展開していきます。
到達目標	1.[知識・理解]　語学の活用を通して、人間社会の変化や関連する課題について、基本的な知識を理解できる。(◎) 2.[思考・判断・表現]　映画の登場人物について英語で学習しながら、人間生活と結びつけて理解し、課題解決ができる。(○) 3.[技能]　語学学習を通して、専門的な学習の基盤となる共通の幅広い知識や技能を身につけることができる。(◎) 4.[関心・意欲・態度]　グローバルな観点から異文化理解に興味や関心をもち、主体的、意欲的に課題に取り組むことができる。(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
筆記試験	30	10	20	－	60
発表・レポート	－	5	10	5	20
自己評価	5	－	5	－	10
受講態度	－	－	－	10	10
合　計	35	15	35	15	100

成績評価と割合	筆記試験(まとめテスト：記述1回) 60%、発表(毎回)・レポート(2回) 20%、自己評価(毎回) 10%、 受講態度(毎回) 10% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。
テキスト	『Hawaii: English with Aloha』ISBN978-4-88361-820-0 Sankeisha(売店で購入してください) 『The Lives and Times Movie Stars』ISBN978-4-89407-501-6 スクリーンプレイ(売店で購入してください)
参考書・教材	参考書：『第1回映画英語アカデミー賞』スクリーンプレイ(2012) 教　材：必要な資料は授業中に配布します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	Introduction(授業の進め方、学習方法、評価についてのガイダンスなど) [準備・課題]これまでの英語学習の経験について自己紹介もかねてまとめる(2h)
2	The Golden People(1)読解して内容を理解する ch.1 Drew Barrymoreから英語表現を学ぶ [準備・課題]The Golden People(1)の予習とch.1 Drew Barrymoreの課題を行うこと(1～2h)
3	The Golden People(2)練習問題を解いて内容を理解する ch.2 Ingrid Bergmanから英語表現を学ぶ [準備・課題]The Golden People(2)の予習とch.2 Ingrid Bergmanの課題を行うこと(1～2h)
4	What is aloha?(1)読解して内容を理解する ch.3 Jack Blackから英語表現を学ぶ [準備・課題]What is aloha?(1)の予習とch.3 Jack Blackの課題を行うこと(1～2h)
5	What is aloha?(2)練習問題を解いて内容を理解する ch.4 Abigail Breslinから英語表現を学ぶ [準備・課題]What is aloha?(2)の予習とch.4 Abigail Breslinの課題を行うこと(1～2h)
6	Which island is your favorite?(1)読解して内容を理解する ch.5 Nicolas Cageから英語表現を学ぶ [準備・課題]Which island is your favorite?(1)の予習とch.5 Nicolas Cageの課題を行うこと(1～2h)
7	Which island is your favorite?(2)練習問題を解いて内容を理解する ch.6 Kevin Costnerから英語表現を学ぶ [準備・課題]Which island is your favorite(2)の予習とch.6 Kevin Costnerの課題を行うこと(1～2h)
8	Madame Pele(1)読解して内容を理解する ch.7 Russel Croweから英語表現を学ぶ [準備・課題]Madame Pele(1)の予習とch.7 Russel Croweの課題を行うこと(1～2h)
9	Madame Pele(2)練習問題を解いて内容を理解する ch.8 Michael J. Foxから英語表現を学ぶ [準備・課題]Madame Pele(2)の予習とch.8 Michael J. Foxの課題を行うこと(1～2h)
10	History of the Islands(1)読解して内容を理解する ch.9 Mark Hamilから英語表現を学ぶ [準備・課題]History of the Islands(1)の予習とch.9 Mark Hamilの課題を行うこと(1～2h)
11	History of the Islands(2)練習問題を解いて内容を理解する ch.10 Tom Hanksから英語表現を学ぶ [準備・課題]History of the Islands(2)の予習とch.10 Tom Hanksの課題を行うこと(1～2h)
12	King Kamehameha the Great(1)読解して内容を理解する ch.11 Anne Hathawayから英語表現を学ぶ [準備・課題]King Kamehameha the Great(1)の予習とch.11 Anne Hathawayの課題を行うこと(1～2h)
13	King Kamehameha the Great(2)練習問題を解いて内容を理解する ch.12 Audrey Hepburnから英語表現を学ぶ [準備・課題]King Kamehameha the Great(2)の予習とch.12 Audrey Hepburnの課題を行うこと(1～2h)
14	Tuesdays with Morrieについての学習(英文Tuesdays with Morrieをメディアも用いて内容を理解する) [準備・課題]①Tuesdays with Morrieのレポート作成、②学習した映画俳優のレポート作成(1～2h)
15	まとめと発表(総合的なまとめ、異文化理解の内容や俳優の人生について英文を読んで考えたことの発表) [課題]総合的なまとめの復習(1～2h)

時間外での学習	授業の各回で[準備・課題]として示した内容の予復習を確実に行い、学習しましょう。 質問などがあれば、オフィスアワーの時間を利用してください。
受講学生へのメッセージ	グローバルな世界の中で、積極的にコミュニケーションをとる態度を語学学習を通して養いましょう。 楽しく映像を利用して学習を行い、基礎的なスキルを身につけましょう。 オフィスアワーは授業前後の休み時間です。

外国語コミュニケーションⅠ（看護学科）	教養科目		1年前期	
	1単位		演習	30時間

［教員］: 中村　静子

［関連する資格・履修制限等］:

授業内容	自己紹介をはじめ、生活・身の回りの出来事を英語で表現でき、読む・聞く・話す・書く能力と、異文化へのコミュニケーション能力とを身につけることを目標とします。英会話の基礎・基礎構文や英語のリズムを学ぶために、英語の歌や詩などを活用します。グループワークでの英語の寸劇（台本作り・実演）にも取り組みます。 医療に於ける単語・英文を少しずつ身につけていくために、5回目から毎回、5分間テストを行います。
授業方法	ペアあるいはグループでのレッスン。常に英語で会話が出来ることを目的とする。
到達目標	1.［知識・理解］　看護に必要な単語・文の理解ができる。（○） 2.［思考・判断・表現］　個々の患者の国民性・性格などを加味した上でそれに合わせてどの様に接していくかを考えることができる。（◎） 3.［技能］　患者との英語でのコミュニケーションにおいてスムーズな対話ができる。（○） 4.［関心・意欲・態度］　いつでも院内で英語が使えるように普段から外国人を見かけたら英語で話しかける意欲を持つことができる。（◎）

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
単語・英文のテスト	20	－	－	－	20
英文リポート	－	20	－	－	20
リスニングテスト	－	10	－	－	10
ペアワーク	－	－	20	－	20
提出物	－	－	－	10	10
受講態度	－	－	－	20	20
合　計	20	30	20	30	100

成績評価と割合	単語・英文のテスト 20%、英文リポート 20%、リスニングテスト 10%、ペアワーク 20%、提出物 10%、受講態度 20% の合計100%で評価します。 原則として、遅刻・欠席厳禁（テキスト書き込みも採点対象となる）
テキスト	山田薙夏･黒田貞子『看護師・医療秘書のための実践英会話　第2版　English Conversation for Nurses and Medical Secretaries 2nd Edition』(有)アリスト（全員購入すること）（売店で購入してください）
参考書・教材	随時、オリジナル教材を配付する。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	(1)レッスンプラン　(2)Self-Introduction　(3)英文で自己紹介リポート ・レッスンの進め方に対する説明・教員の自己紹介 (in English and Japanese)（英語 → Listeningの練習のため） ［準備・課題］A：辞書／B：自己紹介を日本語と英語で考えておく（1h） ※以下全て、A：準備・B：課題について記載
2	My World Trip　・教員の今までの世界旅行の体験談などを話す（in English and Japanese） ［準備・課題］A：世界地図を見ておく／B：リポート完成へ（1h）
3	テキストP.24　道案内　・ペアで地図を見ながら英語で道案内する ［準備・課題］A：P.24予習／B：ペアでの会話（0.5h）
4	(1)P.83～P.90　病状などの文を学ぶ　(2)English Songを歌う ［準備・課題］A：P.83～P.90テキストチェック／B：その頁を復習（1h）
5	患者受付　医師、看護師に於ける英会話練習　・ペアで道案内台本作り ［準備・課題］A：P.10,P.12テキストチェック／B：台本完成へ（1h）
6	ペアでリハーサル ［準備・課題］A：ペアで台本確認／B：ペアでリハーサル（1.5h）
7	薬の投与の仕方を学ぶ　・Skit（寸劇発表） ［準備・課題］A：P.34,P.36テキストチェック／B：プリント復習（1h）
8	P.91～P.96　医療に於ける単語を学ぶ ［準備・課題］A：P.91～P.96単語チェック／B：単語を覚える（1h）
9	P.38　（単語・文法・発音）を学ぶ ［準備・課題］A：P.38テキストチェック／B：単語・文法を覚える（1.5h）
10	Making card（英文でグリーティングカードを作る） ［準備・課題］A：カードの相手を決めておく／B：カードの文を考えておく（1h）
11	カード用手紙文（英文）を書く ［準備・課題］A：前回Bの単語を調べておく／B：カード・レイアウトなどを考えておく（1h）
12	カード作成へ　・Halloweenについて ［準備・課題］A：カード用シール・色鉛筆など準備／B：カード提出へ（1h）
13	Halloween Lesson（Trick or Treat） ・パーティー（仮装O.K）形式でその歴史などを教員の海外でのエピソードをまじえて聞く ［準備・課題］A：気分をHalloween Lessonへと整えておく／B：その単語などを暗記（0.5h）
14	カード仕上げ、提出 ［準備・課題］A：リスニングのための準備／B：カード提出への課題（1h）
15	Listening, Reading, 発音テスト　・テキストの中の書き込みリポート ［準備・課題］A：テキスト書き込み箇所再チェック／B：数字・月名（1月～12月）聞き取り（1.5h）

時間外での学習	授業中に覚えた英語表現をリピートして覚える。それ以外耳に入ってくる英語（テレビの英会話番組、コマーシャル、歌、洋画）に耳を傾ける。（質問等があれば非常勤講師控室にどうぞ。）
受講学生へのメッセージ	毎時間、工夫をこらしたレッスンを準備していますので、楽しみながらレッスンに参加してください。 そして15回のレッスン終了後“英語って楽しいなぁ”と感じてほしいです。 英語に対する苦手意識が解消しますように！！ オフィスアワーは、講義前後の教室で行います。 ※テキスト、辞書（電子辞書可）、ノートを毎回必ず持参すること。

外国語コミュニケーションⅡA	教養科目		1年後期	
	1単位		演習	30時間
[教員]：フェハーリ フェリペ				
[関連する資格・履修制限等]：				

授業内容	東海地方に多数居住するブラジル出身者の母語であるポルトガル語について、基礎レベルの文法・会話を学ぶとともに、ブラジルの文化についても知識を深める。
授業方法	通常の講義、また生徒同士での会話練習を行う。
到達目標	1.[知識・理解]　ポルトガル語を話すブラジルの人々の文化を知ることで、異文化理解の感覚を養う。(◎) 2.[思考・判断・表現]　ポルトガル語の基礎知識を、地域社会で活かすことができる。(○) 3.[技能]　ポルトガル語の基礎レベルの文法、語彙、会話能力を身に付ける。(○) 4.[関心・意欲・態度]　ポルトガル語に関心を持ち、積極的に学修に取り組むことができる。(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
筆記試験	30	20	－	－	50
中間テスト	10	－	20	－	30
受講態度	－	－	－	20	20
合　計	40	20	20	20	100

成績評価と割合	筆記試験 50%、中間テスト 30%、受講態度 20% の合計100%で評価します。
テキスト	重松 由美『Vamos falar português!』　朝日出版社　2014年
参考書・教材	武田 千香『デイリー日葡英・葡日英辞典』　三省堂　2003年

内容	
実施回	授業内容・目標
1	イントロダクション（自己紹介・ポルトガル語概説） [準備・課題] 講義内容の復習（1h）
2	会話（アルファベットと発音） [準備・課題] 講義内容の復習（1h）
3	会話（挨拶表現） [準備・課題] 講義内容の復習（1h）
4	文法（名詞の性と数・数字） [準備・課題] 講義内容の復習（1h）
5	文法（主格人称代名詞とser動詞） [準備・課題] 講義内容の復習（1h）
6	文法（ser動詞の用法と疑問文・否定文） [準備・課題] 講義内容の復習（1h）
7	文法（形容詞・所有形容詞・指示代名詞） [準備・課題] 講義内容の復習（1h）
8	語彙（名詞・形容詞） [準備・課題] 講義内容の復習（1h）
9	文法（規則動詞） [準備・課題] 講義内容の復習（1h）
10	文法（前置詞） [準備・課題] 講義内容の復習（1h）
11	語彙（動詞） [準備・課題] 講義内容の復習（1h）
12	文法（疑問詞） [準備・課題] 講義内容の復習（1h）
13	文法（不規則動詞） [準備・課題] 講義内容の復習（1h）
14	文法（estar動詞） [準備・課題] 講義内容の復習（1h）
15	会話（既習の文法事項の再確認と会話での活用） [準備・課題] 講義内容の復習（1h）

時間外での学習	予習は必要ありませんが、復習はしっかりと行いましょう。
受講学生へのメッセージ	オフィスアワーは教室で、講義後とさせていただきます。

外国語コミュニケーションⅡB	教養科目		1年後期	
	1単位		演習	30時間

［教員］: 所　洋子

［関連する資格・履修制限等］:

授業内容	基本的な中国語会話を覚えていくと共に、中国と日本との文化や習慣の違いにも触れていく。
授業方法	一方的に授業することは避け、主役は学生であることを念頭に置き、共に会話や練習問題を行っていく。 具体的には「グループ討議」や「ロールプレイ」等を通して実施していく。
到達目標	1.［知識・理解］　中国語の発音、中国語の語順、中国で使われている漢字と日本で使われている漢字の違いなどを通して、中国語の基本的な部分を理解できる。（○） 2.［思考・判断・表現］　基本的な中国語会話力や、また「中国なう」を通じて中国と日本との文化や習慣の違いを知っていただくと共に、異文化への理解を深め、心豊かな人間になっていただくことを目指したい。（○） 3.［技能］　日本語にない発音の仕方の学習を通して、コミュニケーション能力の向上につなげていきたい。（○） 4.［関心・意欲・態度］　自国以外の文化や習慣に関心を持つことに結びつき、グローバルな視野や考え方を養っていただきたい。（◎）

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
筆記試験	20	15	20	15	70
レポート・発表	5	－	5	－	10
受講態度	－	－	－	20	20
合　計	25	15	25	35	100

成績評価と割合	筆記試験 70%、レポート・発表 10%、受講態度 20% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。
テキスト	初回に自作の「中国語基礎会話テキスト」を配布します。
参考書・教材	必要な資料は配布します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	自分のこと（名前・趣味）を中国語で言ってみよう ［準備・課題］学習した内容の復習(3h)
2	(1)自分のこと（年齢・家族）を中国語で言ってみよう (2)「中国なう」中国ってどんな国？ ［準備・課題］学習した内容を復習し、中国の現状（生活）を調べてまとめる(4h)
3	数字・時間・曜日を中国語で言ってみよう ［準備・課題］学習した内容の復習(3h)
4	(1)「あり」・「なし」を中国語で言ってみよう (2)「中国なう」似ていて異なる中国と日本の漢字の違い ［準備・課題］学習した内容の復習(3h)
5	自分の「したいこと」を中国語で言ってみよう ［準備・課題］学習した内容の復習(3h)
6	(1)比較することを中国語で言ってみよう（高い・低い、大きい・小さい） (2)「中国なう」日本の漫画は中国で大流行 ［準備・課題］学習した内容を復習し、中国と日本との文化の関連性を調べてまとめる(3～6h)
7	中国語で質問してみよう（なぜ？） ［準備・課題］学習した内容の復習(3h)
8	(1)中国語で質問してみよう（どのように） (2)「中国なう」中国からの観光客 ［準備・課題］学習した内容の復習(3h)
9	中国語で質問してみよう（誰？） ［準備・課題］学習した内容を復習し、中国の現状（社会）を調べてまとめる(4h)
10	(1)「漢字」に興味を持ってみよう (2)「中国なう」中国の外来語 ［準備・課題］学習した内容の復習(3h)
11	中国語で病気を表現してみよう ［準備・課題］学習した内容を復習し、中国の現状（女性の社会進出）を調べてまとめる(5h)
12	(1)感想を中国語で言ってみようⅠ (2)「中国なう」中国人の食 ［準備・課題］学習した内容の復習(3h)
13	感想を中国語で言ってみようⅡ ［準備・課題］学習した内容の復習(3h)
14	(1)感想を中国語で言ってみようⅢ (2)「中国なう」中国で流行っている日本食 ［準備・課題］学習した内容の復習(3h)
15	総まとめ ［準備・課題］学習した内容の復習(3h)

時間外での学習	各課ごとに練習問題があるので、予習しましょう。学んだ言葉を実際に生活の中で使ってみて、その楽しさを見つけてほしい。また、言葉の勉強をきっかけにその国の文化等にも関心をもっていただきたい。
受講学生へのメッセージ	・中国語は発音が難しいとよく言われていますが、私の授業は発音には固持しません。むしろ馴染みのある漢字から入っていき、最終的には中国人の方と筆談ができるようになればと願っております。 ・オフィスアワーは講義教室で毎週水曜日の10:30～10:40と12:10～12:30です。

国語表現（弓削）	教養科目		1年前期	
	2単位		講義	30時間

［教員］: 弓削　繁

［関連する資格・履修制限等］:

授業内容	ことばを正しく使い、的確な文章で自分の思いや考えを相手に伝えることは、社会人・職業人として、また専門科目の学修の基礎としてきわめて大切なことです。そこでこの授業では、自分の国語力のレベルを知り基礎力を養うために、毎時はじめに多様な分野にわたる「自己診断テスト」を行います。次いで教科書に沿って文章表現のルールや方法を学んだ上で、手紙・案内文・公用文・作文・レポート・エントリーシートなど、さまざまな文章の書き方を実践的に身につけていきます。
授業方法	講義と実技（文章作成）を合わせた形式の授業を次の流れで展開する。 1.はじめの30分で自己診断テストを行い、自己採点して、ことばや表現を豊かにする。 2.次に、教科書に沿ってことばと文章表現に関する基礎を学ぶ。 3.最後に、さまざまな文書や文章を作成し、文章表現力を鍛えていく。
到達目標	1.［知識・理解］　国語の語彙と用法についての知識・理解を深め、豊かな表現ができる。　(◎) 2.［思考・判断・表現］確かな国語力を身につけ、課題や問題点を的確に捉え、思考を深めることができる。　(△) 3.［技能］　社会人・職業人に必要な実用的な文章、並びに専門科目で求められる論理的な文章を作成することができる。　(◎) 4.［関心・意欲・態度］思考と表現及びコミュニケーションの最も大切な基盤は国語力であると理解し、興味と関心をもって　学修に取り組むことができる。　(△)
観点別評価	

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
筆記試験	30	10	25	－	65
自己診断テスト	20	－	－	－	20
受講態度	－	－	－	10	10
提出物	－	－	5	－	5
合　計	50	10	30	10	100

成績評価と割合	定期試験 65%、自己診断テスト 20%、受講態度・学修意欲 10%、提出物 5% の合計100%で評価する。
テキスト	『日本語表現法』翰林書房　980円＋税(売店で購入してください) ISBN 978-4-87737-316-0
参考書・教材	必要に応じて授業中に指示する。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	講義の内容と方法についての説明と、ことばの機能に関する概説 ［準備・課題］図書館などでことばの機能に関する文献を読み、理解を深める（3h）
2	文章を書くための基礎知識－原稿用紙の使い方 ［準備・課題］学修内容の復習（3h）
3	文章を書く時の注意点－悪文の類型とその直し方 ［準備・課題］教科書の例題を解き、自分の間違いを再確認する（3～5h）
4	レポートの様式－頭書き、文献の引用、注記など ［準備・課題］学修内容を復習し、レポートに必要な事柄を確実に理解する（3～4h）
5	レポートの用語と文体－話しことばと書きことば、常体と敬体、など ［準備・課題］口語と文語の違いを理解し、使えることばか否かを判別できるようにする（4～5h）
6	作文・論作文・論文の違いと書き方 ［準備・課題］事前に教科書の文章題の主題と構成を考えてくる（3～4h）
7	論理的な文章構成－帰納法と演繹法、頭括法と尾括法、三段構成と四段構成、など ［準備・課題］学修した文章の構成を次時の文章題に生かせるようにしておく（3～4h）
8	作文または小論文の作成－授業前半のまとめ ［準備・課題］時間内に完成させられるよう、事前に書く内容と構成を練ってくること（4～6h）
9	敬語の基礎知識－敬語の種類と用法 ［準備・課題］教科書を読み、理解を深めてくること（3～4h）
10	敬語使用上の注意点－相手との関係性と場面 ［準備・課題］教科書の課題を解いてくることと学修した内容の復習（3～4h）
11	手紙の種類と様式－頭語と結語、時候・安否の挨拶、主文と末文、など ［準備・課題］学修内容を復習し、正式な手紙が書けるようにしておくこと（3～4h）
12	手紙文の作成－礼状・挨拶状を書く ［準備・課題］時間内に完成しなかった手紙文を完成させる（2～5h）
13	公用文の種類と様式－案内状・紹介状・会議録など ［準備・課題］学修内容を復習し、課題の文章を作成してくる（3～4h）
14	就職等に必要な書類の書き方－履歴書・エントリーシートなど ［準備・課題］学修内容を復習し、要点を心得ておくこと（3～4h）
15	社会問題をテーマにした小論文の作成－授業全体の総括 ［準備・課題］事前に新聞や書物を読み、テーマを絞り、データなどを集め、時間内に完成させられるよう準備をしてくる（5～7h）

時間外での学習	毎回返却する自己診断テストの間違い箇所をチェックし、基礎知識を培いましょう。 ［準備・課題］に示した事柄をきちんとこなしましょう。
受講学生へのメッセージ	教科書に原稿用紙が綴じ込まれていますので、忘れず持ってきましょう。 オフィスアワー：質問・相談事は授業の前後に対応しますので、気軽に声をかけてください。

国語表現（横倉）	教養科目		1年前期	
	2単位		講義	30時間

［教員］: 横倉　真弥

［関連する資格・履修制限等］:

授業内容	この授業は、大学生活で必要となるレポートや論文を書くために必要な文章表現の基礎や情報倫理について学びます。
授業方法	講義を通じて文章表現の基礎と情報の扱い方を学んだ後、グループで共通のテーマについて調査を行い、発表をするなど講義で学んだことを実践していきます。グループ発表後は、発表を通じて得た多様な観点からテーマを捉えなおし、レポートにまとめ提出します。
到達目標	1.［知識・理解］　自分の関心のあるテーマについての基本的な知識を身につける。　(○) 2.［思考・判断・表現］　自分の考えを論理的で明確な文章で書けるようになる。自分や他者の意見や表現を客観的に吟味できるようになる。　(◎) 3.［技能］　適切な情報源から適切な情報が収集できるようになる。　(○) 4.［関心・意欲・態度］　コミュニケーション能力および協同性が身につく。　(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
課題提出	10	10	10	−	30
レポート	5	20	10	5	40
発表	5	5	5	5	20
グループワーク	−	−	−	10	10
合　計	20	35	25	20	100

成績評価と割合	課題提出 30%、レポート 40%、発表 20%、グループワーク 10% の合計100%で評価します。
テキスト	ありません。
参考書・教材	授業時に適宜教材を配布します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	オリエンテーション　論文で使う表現 ［準備・課題］宿題①発表テーマについて自分の意見を書いてくる。(2h)
2	悪文訂正(1)　文レベル ［準備・課題］宿題①について文レベルでの修正する。(2h)
3	悪文訂正(2)　文章の構成レベル ［準備・課題］宿題①について文章の構成レベルでの修正をする。(2h)
4	情報倫理・引用・要約の仕方を学ぶ ［準備・課題］発表テーマに関連する新聞記事を調べ、要約する。(3h)
5	グループワーク(1)　発表テーマを考える ［準備・課題］新聞記事を紹介しあい、わかったことをまとめる。(2h)
6	グループワーク(2)　発表テーマに関する資料を調べる ［準備・課題］発表テーマに関連する資料を調べる。(3h)
7	資料の説明の仕方 ［準備・課題］調べてきた資料を教材にある文型を使って説明する。(2h)
8	グループワーク(3)　発表のアウトラインを考える ［準備・課題］調べてきた資料をグループで共有し、発表テーマを決定する。(3h)
9	グループワーク(4)　レジュメの書き方を学ぶ ［準備・課題］各自担当箇所をまとめてくる。(3h)
10	グループワーク(5)　レジュメ作成 ［準備・課題］グループでレジュメを完成させる。(3〜6h)
11	発表(1) ［準備・課題］質疑応答の準備など、発表リハーサルをしてくる。(3h)
12	発表(2) ［準備・課題］質疑応答の準備など、発表リハーサルをしてくる。(3h)
13	レポート作成(1)　アウトライン作成・ピアチェック ［準備・課題］Wordを使ってレポートを書く。(3〜6h)
14	レポート作成(2) ［準備・課題］Wordを使ってレポートを推敲する。(3〜6h)
15	まとめ ［準備・課題］総合的なまとめの復習をする。(6h)

時間外での学習	グループ発表や課題提出・レポート作成の準備など。
受講学生へのメッセージ	オフィスアワー：質問は授業後、教室で受けつけます。

心理学	教養科目		1年後期	
	2単位		講義	30時間

［教員］: 茂木　七香

［関連する資格・履修制限等］:

授業内容	私たちは日頃いろいろなことを感じたり考えたりする中で、自分の心を意識し、自分が心を持っているということを実感しています。いつも身近にあるような気がする「心」、いったいどこにあってどのような仕組みになっているのか、他人の心はどうすれば理解できるのか、と改めて考えてみると知らないこともたくさんあります。この授業では人の心と行動について学びます。まず始めに心理学の歴史を概観し、次に心の仕組みや働きを記憶や学習、発達などの各領域について解説します。さらに、心がうまく機能しない状態とその対処法についてもお話しします。
授業方法	基本的には講義形式ですが、課題に取り組んだり、実験に参加したりする機会もあります。
到達目標	1.［知識・理解］　社会の中で人とかかわる上で不可欠である、人の心の働きに関する基礎的な知識を理解し身につける。（◎） 2.［思考・判断・表現］　身近な事象を捉える際に、表に現れている部分だけを見るのではなく、心理学の知識や手法を用いて多角的な視点から考え理解することができる。（○） 3.［技能］　授業で得た知識や手法を、実生活での他者とのコミュニケーションで活用することができる。（○） 4.［関心・意欲・態度］　自分の心で感じたことを授業で得た知識と照らし合わせて捉えなおし、自己や他者の理解をよりいっそう深めようとする。（○）
観点別評価	

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
筆記試験	35	2	2	2	41
レポート	−	8	8	8	24
小テスト	5	−	−	−	5
受講態度	−	10	10	10	30
合　計	40	20	20	20	100

成績評価と割合	筆記試験 41%(中間テスト20%、定期テスト21%)、レポート 24%、小テスト 5%、受講態度 30% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、全体の3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。
テキスト	教科書は指定しません。 授業中に適宜資料を配布します。
参考書・教材	授業中に紹介します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	イントロダクション：心とはなにか？　心理学の歴史　心を知る方法 ［準備・課題］授業の内容をもとに、心の働きを知るためには他にどのような方法があるか考えてみる。(2-3h)
2	認知：感覚と知覚　錯視　運動知覚 ［準備・課題］授業で紹介された錯視や運動知覚のいくつかを、錯視図を見たり、実際に起こりそうな場に行ってみたりして体験する。(2-3h)
3	性格：類型論と特性論　性格の測定 ［準備・課題］授業の内容を踏まえて、性格を測定するにはどのような方法を用いるのが良いか考える。(2-3h)
4	感情：感情生起のメカニズム　感情の測定 ［準備・課題］自分自身の日常を振り返り、ある場面において自分の感情がどのように沸き起こったかを考察する。(2-3h)
5	知能：知能の定義　知能の測定 ［準備・課題］授業の内容を踏まえて、知能を測定するにはどのような方法を用いるのが良いか考える。(2-3h)
6	学習：動機づけ　観察学習　報酬の影響 ［準備・課題］自分自身の「学習に対する動機づけ」について考え、その要因、タイプ、得られる報酬などを明らかにする。(2-3h)
7	中間テスト（範囲：第1回～第6回） 記憶：記憶のメカニズム　忘却曲線 ［準備・課題］数回前の授業内容を振り返り、記憶と忘却の実態について、またその理由について考える。(2-3h)
8	発達：生涯発達の概念　発達課題　青年期の発達特性 ［準備・課題］現在の自分自身を発達直線の上に記し、今までの人生を振り返り、これからの人生の予想図を考える。(2-3h)
9	社会：社会的のぞましさ　説得的コミュニケーション　広告の効果 ［準備・課題］身近な広告をひとつとりあげ、心理学的手法がどのように用いられているかを検証する。(2-3h)
10	集団：同調行動　社会的手抜き　社会的促進 ［準備・課題］自分自身の日頃の行動を振り返り、一人でいる時と集団の中にいる時とで異なる点を挙げてみる。(2-3h)
11	対人：対人魅力　バランス理論　態度変容 ［準備・課題］自分の身近な人との関係を取り出し、バランス理論の考え方があてはまるかどうか検証する。(2-3h)
12	産業：リーダーシップ　ストレス対処 ［準備・課題］自分がリーダーシップを取る時にはどのタイプの行動をとっているか、自らの行動を振り返る。(2-3h)
13	臨床(1)：心の障がいと対応方法 ［準備・課題］ニュースや新聞から心の障がいに関係するトピックを取り上げ、内容をまとめる。(2-3h)
14	臨床(2)：心の病とその対処方法 ［準備・課題］ニュースや新聞から心の病に関係するトピックを取り上げ、内容をまとめる。(2-3h)

内容	
実施回	授業内容・目標
15	まとめ　レポート課題提示 [準備・課題]これまでの授業の中で一番興味のあるテーマを一つ選び、それについて考えたことをまとめる。(2-3h)

時間外での学習	授業で習った知識や技法は、日々の学習に取り組んだり、身近な人とコミュニケーションしたりするときなど、日常生活の中でどんどん応用し、実践してください。なんだかうまくいかない、と感じたら、もう一度授業の内容に戻って復習しましょう。
受講学生へのメッセージ	授業で扱う内容はすべて人の心に関するものなので、あなた自身の心で実感したり体験したりできるものばかりです。「今日、私の心はどんな状態だろう？」と自分自身の心に耳をすませて授業に参加してください。 オフィスアワーは毎週火曜日の10:30-12:30、気軽になんでも話しに来てください。

日本国憲法	教養科目		1年前期	
	2単位		講義	30時間

［教員］: 大矢　武史

［関連する資格・履修制限等］:

授業内容	日本国憲法は、国民の権利・義務と国の政治に関するルールを定めている最も大事なルールです。つまり、憲法を学ぶことは、国や社会のしくみについて学ぶことでもあります。この講義では、私たちにどんな権利が認められているのか、誰がどのように政治を行っているのか、といった国民の権利や政治のしくみについて基礎から学んでいきます。憲法を学ぶことで、みなさんが今後１人の国民として生きていくうえで必要となる教養、あるいは、専門科目の学修をするうえで必要となる基礎知識を得ることができます。みなさんにとって有意義な時間となるような講義を目指します。
授業方法	・講義形式で行います。 ・学生の座席は、教員が指定します。 ・講義中に学生に発言を求めることがあります。教員から発言を求められた際は積極的に発言するように努めてください。
到達目標	1.［知識・理解］　日本の政治のしくみや特徴を理解している。　(◎) 2.［思考・判断・表現］　人権の考え方を理解し、他人の個性を尊重することの大切さを理解している。　(○) 3.［関心・意欲・態度］　憲法が私たちの生活に密接に関わることを理解し、憲法を学ぶ大切さを感じながら学修に取り組むことができる。　(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
期末試験	30	10	－	－	40
小テスト	30	10	－	－	40
コメント記入	－	5	－	5	10
受講態度	－	－	－	10	10
合　計	60	25	－	15	100

成績評価と割合	期末試験 40%、小テスト 40%、コメント 10%、受講態度 10% の合計100%で評価する。
テキスト	『マンガでわかる日本国憲法』池田書店(売店で購入してください) ISBN-10:4262154173 / ISBN-13:978-4262154176
参考書・教材	大矢武史の講義サイト　http://ralfeel.web.fc2.com/

内容

実施回	授業内容・目標
1	イントロダクション：学修のPoint　憲法ってどんな内容のルール？ ［準備］Ａ４サイズのノート(キャンパスノート、方眼orドット入り罫線あり)を用意する (1h) ［課題］憲法と法律の違いを理解しておく(1h)
2	憲法の歴史：学修のPoint　なぜ憲法は必要なの？ ［準備］市民革命とは何か予習する(1h) ［課題］憲法が制定された背景(日本と外国との違いを含む)を理解しておく(1h)
3	前文と基本原理：学修のPoint　前文には何が書いてあるの？ ［準備］天皇主権と国民主権との違いは何か予習する(1h) ［課題］憲法の基本原理について理解しておく(1h)
4	基本的人権：学修のPoint　人権(権利・自由)はなぜ必要なの？ ［準備］国民の権利にはどのようなものがあるか予習する(1h) ［課題］人権の性質について理解しておく(1h)
5	平等権：学修のPoint　許される差別と許されない差別の違いは？ ［準備］相対的平等とはどういう意味か予習する(1h) ［課題］平等原則について理解しておく(1h)
6	自由権：学修のPoint　自由と自己中との違いは？ ［準備］自由権の種類(分類)について予習する(1h) ［課題］権利には制限があることを理解しておく(1h)
7	社会権：学修のPoint　人間に値する生活を送るために必要なことは？ ［準備］社会権には、どんな権利が含まれるのか予習する(1h) ［課題］社会権の性質、特徴、個々の権利が果たす役割について理解しておく(1h)
8	新しい人権：学修のPoint　憲法に定められていない権利も保障されるの？ ［準備］新しい人権とは何か予習する(1h) ［課題］日本国憲法の課題(問題点)について理解しておく(1h)
9	政治のしくみ：学修のPoint　日本の政治はどのように行われているの？ ［準備］国の仕事(立法、行政、司法)について予習する(1h) ［課題］三権分立のしくみについて理解しておく(1h)
10	国会：学修のPoint　衆議院と参議院は何が違うの？ ［準備］国会のしくみについて予習する(1h) ［課題］国会のしくみ、国会の役割、代表民主制について理解しておく(1h)
11	内閣：学修のPoint　国の政策は誰がどうやって決めているの？ ［準備］内閣とはどういった組織なのか予習する(1h) ［課題］内閣の役割、議院内閣制について理解しておく(1h)
12	裁判所：学修のPoint　裁判所は人権保障にとって最後の砦！ ［準備］裁判のしくみについて予習する(1h) ［課題］裁判所の役割、裁判のしくみについて理解しておく(1h)
13	地方自治：学修のPoint　自分の暮らす街の未来はどうなる？ ［準備］「地方自治体」・「条例」とは何か予習する(1h) ［課題］直接民主制と間接民主制の違いについて理解しておく(1h)
14	安全保障：学修のPoint　憲法９条の改正が議論される理由とは？ ［準備］個別的自衛権と集団的自衛権について予習する(1h) ［課題］９条改正問題の背景について理解しておく(1h)
15	講義のまとめ：学修のPoint　国民が果たさなければならない責務とは？ ［準備］これまでの内容を総復習しておく(1h) ［課題］国民の責務について理解しておく(1h)

時間外での学習	新聞やニュースで取り上げられる人権や国の安全保障、憲法改正等の問題に関心をぜひ払ってください。
受講学生へのメッセージ	他の受講生に迷惑をかける行為(私語、電話、メールなど)は厳禁です。受講マナーを守り、他の受講生とともに学び・成長する意思をもって一緒に頑張りましょう。オフィスアワーは授業の前後です。

女性学	教養科目		1年前期	
	2単位		講義	30時間
[教員]：岩田　千鶴子・茂木　七香・石黒　なぎさ				
[関連する資格・履修制限等]：				

授業内容	男女の差、すなわち性差を、生物学的・医学生理学的に学び、本来の女性の本分を理解し、女性の素晴らしさを認識します。また、社会の中でつくられる性差について、心理学的な知見を学修します。これらを通じて、優しくたくましく、魅力的に生きていく秘訣を学びます。
授業方法	講義を中心とした授業展開を基本とします。
到達目標	1.[知識・理解]　生物学的・医学生理学的・心理学的にみた男女の違いを学び、性差に関する基礎的な知識を習得する。(◎) 2.[思考・判断・表現]　授業で学んだことを基に、今後の自分の生き方について考えることができる。また、女性特有の問題について理解し、対処方法を身につけることができる。(◎) 3.[関心・意欲・態度]　女性としてのあるべき姿や魅力的な生き方を思い描きながら積極的に課題に取り組むことができる。(△)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
筆記試験	60	−	−	−	60
授業中の課題レポート	−	30	−	−	30
受講態度	−	−	−	10	10
合　計	60	30	−	10	100

成績評価と割合	筆記試験 60%、授業中の課題レポート 30%、受講態度 10% の合計100%で評価します。 ＊但し、全授業回数の1/3以上を欠席した場合は、定期試験(筆記)の受験資格がありません。
テキスト	なし。
参考書・教材	随時、参考資料を配布する。 参考書・教材は、適宜紹介する。

内容	
実施回	授業内容・目標
1(岩田)	歯科から女性のからだ(1)：口から全身の健康へ [準備・課題]女性ホルモンと歯周病との密接な関係を考え、まとめる(3〜4h)
2(岩田)	歯科から女性のからだ(2)：歯の始まりはお母さんのお腹で [準備・課題]ヒト発生の過程、３つの段階を考え、まとめる(3〜4h)
3(岩田)	歯科から女性のからだ(3)：歯並びのよい子に育てるために [準備・課題]あごの骨や歯列の幅を大きくきれいに育てる食生活や姿勢、生活習慣など親の心構えを考え、まとめる(3〜4h)
4(岩田)	歯科から女性のからだ(4)：出産、そして、出産後の口腔 [準備・課題]母体が健康に出産するための口腔ケアについて考えをまとめる(4〜5h)
5(岩田)	口元から笑顔：最前線の審美歯科とは･･･ [準備・課題]５回の総合的なまとめの復習(3〜4h)
6(茂木)	心理学の立場から①　性役割の歴史と個人における形成過程 [準備・課題]自分にとっての性役割とは何か、その形成過程を振り返ってみる。(2〜3h)
7(茂木)	心理学の立場から②　女性性の受容とLGBTについて [準備・課題]LGBTに関連する話題をニュースや新聞から選び、自分の考えを述べる。(2〜3h)
8(茂木)	心理学の立場から③　子育てにおける性役割と母性 [準備・課題]子育てにおける女性の役割と男性の育児参加について事例をもとに自分の考えをまとめる。(2〜3h)
9(茂木)	心理学の立場から④　女性のキャリア発達とワークライフバランス [準備・課題]短大卒業後の自分自身のキャリアツリーを作成してみる。(2〜3h)
10(茂木)	心理学の立場から⑤　セクシャルハラスメントやDVの現状とその対処法 [準備・課題]本テーマについての事例をニュースや新聞から選び、対処法について当事者の視点から考える。(2〜3h)
11(石黒)	女性と身体：女性のからだの変化(思春期→成熟期→更年期→老年期の変化) [準備・課題]学んだ内容の復習(3〜4h)
12(石黒)	女性と健康①：ライフサイクルにおける女性の健康問題、貧血、月経トラブル、妊娠・不妊、更年期障害、骨粗鬆症 [準備・課題]学んだ内容の復習(3〜4h)
13(石黒)	女性と健康②：自分の健康を守るためにSTD、たばこ・アルコール、肥満とやせ、子宮頸がん・乳がん [準備・課題]学んだ健康問題に対する自己の予防行動について考える(3〜4h)
14(石黒)	女性と社会：女性の役割の変遷、家族と女性、労働と女性 [準備・課題]学んだ内容を復習し、考えたこと・感じたことをまとめる(3〜4h)
15(石黒)	女性と法律：女性の健康に関連する法律、母子保健法、母体保護法、育児休業・介護休業法、労働基準法、男女雇用機会均等法、DV防止法等 [準備・課題]学んだ内容の復習(3〜4h)

時間外での学習	授業で興味を持ったり疑問に感じたりしたことについて、どんどん調べましょう。 身近な人や文献上のさまざまな女性の生き方にも積極的に触れながら、自分のこれからの生き方について具体的に考えてみてください。
受講学生へのメッセージ	あなたは女性として生まれたことをどう思いますか？ 女性としての生き方を考えることは、自分自身を見つめることでもあります。この授業を通じて女性であることの意義を見出し、豊かな人生を送ってほしいと願っています。 オフィスアワーは、岩田(G206)：火曜16:15-17:30、茂木(A306)：火曜10:30-12:30です。

家族社会学	教養科目		1年後期	
	2単位		講義	30時間
［教員］: 竹内　治彦				
［関連する資格・履修制限等］:				

授業内容	社会学の分野のなかで、家族や家族周期にかかわるものを主に取り上げて、今日の人々の暮らしや、地域の状況について理解することを目的とする。かつて家族は人間が生きていくうえで必要な様々な役割を果たしてきたが、今日では感情に基づく親密な集団としての役割に特化されて理解されている感がある。しかし、とりわけ日本では、家族は人間の世代的再生産に絶対的な役割を果たしており、結果、社会から教育に果たす役割も大きい。この授業では、そうした家族の本質的な役割が、今日、どのように果たされているのか説明し、これからの方向について受講生とともに探っていきたい。
授業方法	講義を中心に授業を進めるが、合計特殊出生率の計算などは、実際に計算することで理解を深める。 また、大きなテーマについてグループディスカッションも行う。
到達目標	1.［知識・技能］　家族の構造や機能について基本的なところから理解する。今日の家族の状況について理解する。（◎） 2.［思考・判断・表現］　岐阜県や地域の人口の将来について、推計により考えることができるようになる。（◎） 3.［技能］　人口推計等をもとに、政策的な課題について自分の意見を述べ、他者の意見を理解する。（△） 4.［関心・意欲・態度］　家族と社会をめぐる問題について、関心を持ち、積極的に知識を求め、自ら考え、新たな課題を発見していく。（○）

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
筆記試験	20	20	－	－	40
ミニレポート	10	10	－	10	30
グループディスカッション	5	5	10	10	30
合　計	35	35	10	20	100

成績評価と割合	期末筆記試験 40%、各回の終了時ミニレポート(内容理解と受講姿勢のチェック) 30%、 グループディスカッション(発言内容、参加姿勢) 30% の合計100%で評価します。
テキスト	ありません。
参考書・教材	講義時に指示します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	家族とは何か　家族の構造と機能 ［準備・課題］講義内容の復習(1h)
2	夫婦関係１　配偶者選択・結婚 ［準備・課題］講義内容の予習と復習(1～2h)
3	夫婦関係２　夫と妻の役割・ジェンダー・男女共同参画 ［準備・課題］講義内容の予習と復習(1～2h)
4	少子化社会１　合計特殊出生率の理解 ［準備・課題］講義内容の予習と復習(1～2h)
5	少子化社会２　戦後日本の合計特殊出生率の変化 ［準備・課題］講義内容の予習と復習(1～2h)
6	少子化社会３　岐阜県の少子化の状況 ［準備・課題］講義内容の予習と復習(1～2h)
7	晩婚化・晩産化・少子化について考える ［準備・課題］講義内容の予習と復習、ディスカッションの準備(3h)
8	親子関係１　母子関係 ［準備・課題］講義内容の予習と復習(1～2h)
9	親子関係２　父子関係など ［準備・課題］講義内容の予習と復習(1～2h)
10	家庭生活と仕事との調和１　共働き世帯の増加 ［準備・課題］講義内容の予習と復習(1～2h)
11	家庭生活と仕事との調和２　ワークライフバランスについて ［準備・課題］講義内容の予習と復習(1～2h)
12	女性の活躍推進について ［準備・課題］講義内容の予習と復習(1～2h)
13	女性の活躍推進とワークライフバランスについて考える ［準備・課題］講義内容の予習と復習、ディスカッションの準備(3h)
14	高齢化社会のこれからと家族 ［準備・課題］講義内容の予習と復習(1～2h)
15	高齢化社会の地域生活と家族 ［準備・課題］講義内容の予習と復習(1～2h)

時間外での学習	時折、ディスカッションの機会を設ける。その際には、十分な準備をして臨むことになるので、時間外の学修が必要になる。
受講学生へのメッセージ	一方的な授業ではなく、受講生に計算してもらったりする時間をなるべくつくるので、積極的に参加してください。 オフィスアワーは授業の前後、非常勤講師控室で行います。

地域の歴史と文化	教養科目		1年後期	
	2単位		講義	30時間

[教員]：小川　敏雄

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容	郷土岐阜県の歴史や文化には地域的な特色がある。たとえば、東西通行の要衝にあり低湿地帯でもある西濃には、中央政権の争いの場となったり水との戦いが繰り広げられたりした歴史があり、県都岐阜には、美濃の中央という地理的な特色から、美濃支配の中心地となる歴史があった。東濃には名家が発祥した歴史、郡上・白川郷筋には信仰に関わりの深い歴史、飛騨には森林資源との関わりから中央政権の直接支配を受けた歴史があった。こうした地域の特色を、代表的な歴史事象を通して理解していく。
授業方法	歴史事象を今に伝える史料、史跡や文化財の写真、現在地を示す地図等をパワーポイントで紹介しながら授業を進める。
到達目標	1.[知識・理解]　地域の歴史や文化について基本的な内容を理解することができる。(◎) 2.[思考・判断・表現]　地域の歴史や文化が、地域の地形や地理的位置等自然環境とどのように関わりながら形成されてきたかを考えたり、判断したり、表現したりすることができる。(○) 3.[技能]　地域の歴史や文化の特色について、地図や写真、年表等を使って説明することができる。(△) 4.[関心・意欲・態度]　地域の歴史や文化に関心をもち、積極的に調べたり、考えたりして学修に取り組むことができる。(◎)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
ミニテスト（筆記）	30	20	－	10	60
受講態度	－	－	10	30	40
合　計	30	20	10	40	100

成績評価と割合	授業時間ごとの理解度・関心度を調べるミニテスト 60%、受講態度(聴講態度の良否、発言・質問の有無、遅刻・早退の有無) 40% の合計100%で評価する。 公欠以外の欠席はマイナス点とする。3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。
テキスト	特になし
参考書・教材	特になし

内容

実施回	授業内容・目標
1	「岐阜県の歴史の地域的な特色」 郷土岐阜県には、地域的な歴史や文化の特色があり、西濃、東濃、岐阜、郡上・白川郷筋、飛騨等の特色を概括する。 [準備・課題]本時の学修を復習し、今後の学修の見通しを立てる。(2h)
2	「西濃の歴史　壬申の乱と不破関」 畿内からの出口という地形的な特徴が壬申の乱の舞台となり、また、そうした特徴によって不破関が置かれた。 [準備・課題]壬申の乱と不破関について予習し、予備知識を得てくる。(3h)
3	「西濃の歴史　美濃国府と国司笠朝臣麻呂」 畿内からの出口に近い西濃には、美濃国府や国分寺等重要な施設が置かれ、美濃国の中心地であった。 8世紀前半、長年にわたって美濃守を務め、国府にあった笠朝臣麻呂は、美濃国の発展に寄与した。 [準備・課題]美濃国府と国司笠朝臣麻呂について予習し、予備知識を得てくる。(3h)
4	「西濃の歴史　関ヶ原の戦い」 東西通行の喉元に当たる関ヶ原は、石田三成と徳川家康が雌雄を決する合戦の場となった。 [準備・課題]関ヶ原の戦いについて予習し、予備知識を得てくる。(3h)
5	「西濃の歴史　大垣城と戸田氏」 東西通行の要地であり低湿地でもある大垣に配された譜代大名戸田氏は、治水や文教等特色ある藩政を行うとともに、幕政にも大いに貢献して、230年余の治世を全うした。 [準備・課題]大垣城と戸田氏について予習し、予備知識を得てくる。(3h)
6	「西濃の歴史　宝暦治水と明治の三川分流工事」 木曽・長良・揖斐の三川が合流し水害に悩まされた西南濃では、三川の分流が最大の課題であり、宝暦や明治期にその大工事がなされた。 [準備・課題]宝暦治水と明治の三川分流工事について予習し、予備知識を得てくる。(3h)
7	「東濃の歴史　東濃の雄・遠山氏の発祥」 鎌倉時代、岩村の地に発祥した遠山氏は、戦国時代には全盛期を迎えて東濃一帯に勢力を張った。 [準備・課題]遠山氏について予習し、予備知識を得てくる。(3h)
8	「東濃の歴史　美濃の雄・土岐氏の発祥」 鎌倉時代、土岐郡に発祥した土岐氏は、美濃国守護となり厚見郡に移って室町時代の美濃を支配した。 [準備・課題]土岐氏について予習し、予備知識を得てくる。(3h)
9	「岐阜の歴史　土岐氏の変遷」 厚見郡に移った美濃国守護の土岐氏は、長森から革手、福光、枝広、大桑等へ府城を移しながら、200年以上にわたってその地位を保ち続けた。 [準備・課題]8・9回の学修を復習し、土岐氏の変遷についてまとめる。(6h)
10	「岐阜の歴史　斎藤道三と織田信長」 美濃国主となった斎藤道三は、稲葉山城を本拠とし館や城下町を築いて、ここを美濃の中心地とした。 この城を攻略して岐阜城と改めた織田信長は、壮麗な館や城下町を整えて、天下統一の足場とした。 [準備・課題]斎藤道三と織田信長について予習し、予備知識を得てくる。(3h)
11	「岐阜の歴史　美濃代官役所の変遷」 関ヶ原合戦の前哨戦で岐阜城が落城し、合戦後は、岐阜町に美濃国奉行所が置かれて、美濃国内に多く設けられた幕府直轄地の支配がなされた。 以後、この役所は可児、揖斐、笠松へと転遷し、明治期に岐阜県庁となって今日に繋がる。 [準備・課題]美濃代官役所の変遷について予習し、予備知識を得てくる。(3h)
12	「白鳥・白川郷筋の歴史　白山信仰と浄土真宗」 霊峰白山への登拝口・白鳥は白山信仰の拠点となり、そこから越中につながる白川郷は、後に浄土真宗隆盛の地となった。

内容	
実施回	授業内容・目標
	[準備・課題]白山信仰と白川郷の浄土真宗について予習し、予備知識を得てくる。(3h)
13	「飛騨の歴史　両面宿儺と飛騨匠」 両面宿儺が治めていたとされる飛騨も、大和政権下に入ると、匠を輩出する国として重視され、国家の強い支配を受ける。 [準備・課題]両面宿儺と飛騨匠について予習し、予備知識を得てくる。(3h)
14	「飛騨の歴史　飛騨の統一と高山町の形成」 姉小路氏や江馬氏との抗争を経て三木氏が統一した飛騨も、豊臣秀吉の命を受けた金森氏の手に移り、金森氏は高山城や高山町の形成に努めた。 [準備・課題]飛騨の統一と金森氏の飛騨攻略について予習し、予備知識を得てくる。(3h)
15	「飛騨の歴史　天領と高山陣屋」 一国が幕府直轄地（天領）とされた飛騨には、代官所（高山陣屋）が置かれ、代官や郡代による統治がなされたが、大原騒動・梅村騒動等の大騒動も起きた。 [準備・課題]天領飛騨と高山陣屋について予習し予備知識を得てくるとともに、全時間の学修を振り返り、岐阜県の歴史の地域的な特色をまとめる。(3h～6h)

時間外での学習	授業ごとに次回の授業内容を知らせるため、インターネット等で予備知識を得てくること。 また、授業では、史跡や文化財の所在地等を示すため、見学に出かけるなど立体的な学修を期待したい。
受講学生へのメッセージ	それぞれの地域にはそれぞれの地域の特性に合った歴史があり、その歴史が今日の地域社会を築き上げている。そうした歴史のロマンを感じるような学修にしよう。 オフィスアワーは、毎週水曜日10:30～11:30、場所は非常勤講師控室です。

生活環境論	教養科目		1年前期	
	2単位		講義	30時間

[教員]：矢田貝　真一

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容	地球の環境問題について、このままではこれからの人間生活に大きな影響をおよぼすことが確実で、その解決は一つの国だけではできない広域の問題だといわれています。また環境に大きな影響を与えているのは、一人一人の生活のあり方であるとも考えられ始めています。この授業では、どのような環境問題があり、その原因は何なのかを理解し、それらと私たちの生活がどのように結びついているのかをつかみ、問題の解決に向けて何が必要なのかを考えていきます。
授業方法	講義を中心として、環境に対する認識を深め、考えたことなどを発表する活動なども含めて授業を展開していきます。
到達目標	1.[知識・理解]　地球環境と人間の生活の変化、それらに起因する課題について、基本的な知識を理解できる。(◎) 2.[思考・判断・表現]　地球環境を人間の生活を結びつけながら考え、課題や問題点の原因をあげて解決の方策やそれにつながる取組などを示すことができる。(○) 3.[技能]　表やグラフなどから地球環境と生活に関連する課題の現状などの指摘や説明ができる。(○) 4.[関心・意欲・態度]　地球環境と生活を結びつけながら、それらに関する課題に関心を持ち、積極的に考えようと努力しながら学修に取り組むことができる。(○) (◎・○・△は、教養科目のDP・到達指標との結びつきの強さを示しています。)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
試験	40	10	10	−	60
発表・レポート	5	5	5	5	20
学修成果の自己評価	5	5	−	−	10
受講態度(学修や提出等の状況)	−	−	−	10	10
合　計	50	20	15	15	100

成績評価と割合	試験(まとめテスト：記述；2回) 60%、発表・レポート(毎回) 20%、学修成果の自己評価(毎回) 10%、受講態度(学修･発表･提出等の状況) 10% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。
テキスト	ありません。
参考書・教材	必要な資料は配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
第1週	生活と環境を考える(授業ガイダンス、環境問題についての各自の理解と認識の確認など) [準備・課題]これまで学んだことのある環境問題とその原因についてまとめる(3h)
第2週	地球の環境問題を考える(地球温暖化・オゾン層破壊・酸性雨・森林破壊・生物種減少・砂漠化・海洋汚染などの概要、地球の歴史やシステム) [準備・課題]学んだ内容の復習(3〜6h)
第3週	オゾン層の破壊を考える(オゾン層とは・地球上で果たす役割、破壊される原因、破壊による問題など) [準備・課題]学んだ内容を復習し、防止する取組を調べてまとめる(3〜6h)
第4週	酸性雨を考える(酸性雨とは、原因とメカニズム、世界とわが国の現状と課題、防止に向けた取組など) [準備・課題]学んだ内容を復習し、居住地の現状を調べてまとめる(3〜6h)
第5週	地球温暖化を考える(1)(地球温暖化とは、温暖化の現状と問題、温暖化の原因とメカニズムなど) [準備・課題]学んだ内容を復習し、温暖化に関する報道を調べてまとめる(3〜6h)
第6週	地球温暖化を考える(2)(気候変動の概要、温暖化についての将来予測、防止する手だてなど) [準備・課題]学んだ内容を復習し、温暖化に関する自分なりの考えをまとめる(3〜6h)
第7週	その他の環境問題を考える(森林破壊・生物種の減少・砂漠化・海洋汚染などの原因と深刻な現状など) [準備・課題]前半で学んだ内容を復習する・関心を持った問題を取り上げて詳しく調べてまとめる(5h)
第8週	地球の環境問題についてのまとめ(環境問題のうち最も興味や関心を持った問題について、現象や原因、影響、防止する手だてなどをまとめる) [準備・課題]学んだ内容をまとめるとともに各自で調べるなどしてレポートを完成させる(3〜6h)
第9週	環境問題を生活と結びつけて考える(1)(身近な生活と環境問題の結びつき、生活の進歩と環境問題など) [準備・課題]学んだ内容をもとに進歩の観点から身近な生活と結びつけて考えた結果をまとめる(4h)
第10週	環境問題を生活と結びつけて考える(2)(生活と結びつくエネルギー問題、再生可能エネルギーの現状、エネルギー問題解決に向けて) [準備・課題]学んだ内容をもとにエネルギーの観点から身近な生活と結びつけて考えた結果をまとめる(4h)
第11週	環境問題を生活と結びつけて考える(3)(現実の問題について考える) [準備・課題]学んだ内容を復習し、感想と質問をまとめる(3〜5h)(順序が入れ替わる場合あり)
第12週	環境問題を生活と結びつけて考える(4)(メディアによる問題提起) [準備・課題]学んだ内容を復習し、感想と質問をまとめる(3〜5h)(順序が入れ替わる場合あり)
第13週	生活環境に関連した課題を考える(子供をめぐる環境、食をめぐる課題など) [準備・課題]学修した内容の復習(3h)
第14週	過去の日本人が示した環境問題解決のヒントを考える(循環型社会と江戸時代の生活、そこから学ぶこと) [準備・課題]環境問題の解決策や保全に向けた生活の工夫を考えてまとめる・発表の準備をする(8〜10h)
第15週	まとめと発表(総合的なまとめ、環境問題の解決に向けた対策や生活での工夫などで考えたことの発表) [準備・課題]授業で学んだ全体の内容について振り返り、総合的なまとめを行う(9〜11h)

時間外での学習	[準備・課題]として示した内容を、( )の標準学修時間をめどとして確実に取り組みましょう。 質問等があれば、研究室(A305：A号館3F)へどうぞ。
受講学生へのメッセージ	世界的視野に立ちながらも身近なところとつながる環境の問題について考え、各自の生活や行動と結び付けながら積極的に授業に参加してください。 オフィスアワーはA305で毎週木曜日の16：20〜17：30です。

基礎物理	教養科目		1年後期	
	2単位		講義	30時間
［教員］: 飯田　洋治				
［関連する資格・履修制限等］:				

授業内容	「いきいき物理わくわく実験」 「科学はどこにでもあり、誰でもができる」。このことをモットーに、計算や数式とは一味違った物理の魅力に迫ります。身近な材料を使った実験や討論を通して、力学、光や音、熱、電磁気、原子の世界など、自然の不思議さ・奥深さを追究し、科学の真の面白さ、誰でもが心から楽しめる物理をめざします。
授業方法	身近な材料を使った実験や興味あるテーマを通して、討論を交えた授業を展開する。 毎回、授業内容に対するコメントを求める。
到達目標	1.［知識・理解］　物理の基本的概念と知識を理解する。　(○) 2.［思考・判断・表現］　一市民として必要な科学的思考・総合的判断力の基礎を身につける。　(○) 3.［技能］　日常生活との関わり、応用と結び付けて考える技能を身につける。　(○) 4.［関心・意欲・態度］　物理とその応用・生活との深い関わりに興味や関心を持ち、主体的、意欲的に学習に取り組むことができる。　(◎)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
小レポートと毎回のコメント	15	15	10	20	60
最終レポート	10	10	10	10	40
合　計	25	25	20	30	100

成績評価と割合	小レポート及び毎回のコメント 60%、最終レポート 40% の合計100%で評価します。 欠席は減点、1/3以上の欠席は単位を与えません。
テキスト	なし
参考書・教材	『いきいき物理わくわく実験』1，2，3　愛知・岐阜・三重物理サークル　日本評論社 その他、必要に応じて授業中に紹介します。

内容		
実施回	授業内容・目標	
1	科学マジックを通して、科学・非科学を考える 超能力実験、ひのえうま、空中浮揚など	科学の論理、確率、重心、光の反射 [課題]内容の復習と発展学習(1～3h)
2	強い形、弱い形の秘密を探る 卵は握りつぶせるか、一枚の紙、ストローの形からなど	力の合成・分解、構造力学 [課題]身近な例を調べる(2～3h)
3	振動と共振を考える 振動モーター、タコマ橋の崩壊、五重塔はなぜ倒れないなど	身近なおもちゃから振動･回転･共振へ [課題]内容の復習と発展学習(1～3h)
4	科学はどこにでもあり、誰でもができる 遊びの中の科学、おもちゃの科学、スポーツの科学など	身近なものに潜む物理の原理 [課題]内容の復習と発展学習(1～3h)
5	やってみよう　人の姿勢と動作の科学（ボディメカニクス１） 〝壁にお尻をつけてお辞儀をする〟などいくつかの実験実習から	実習、重心 [課題]内容の復習と発展学習(1～3h)
6	腰を痛めないように重いものを持つ方法（ボディメカニクス２） 看護・介護にも役立つ日常の姿勢と動作	力のモーメント [課題]内容の復習と発展学習(1～3h)
7	音と楽器の秘密を探る 投げてこすってドレミファソ、音階ができれば何でも楽器など	音、定常波 [課題]内容の復習と発展学習(1～3h)
8	光と色の不思議を探る ３原色の影の色、ＣＤ･ＤＶＤの秘密、ものの見える仕組みなど	光 [課題]内容の復習と発展学習(1～3h)
9	エアコンの秘密　温度制御の物理 押すだけで燃える？　フェーン現象など	熱、仕事 [課題]内容の復習と発展学習(1～3h)
10	生活の中の電気・磁気 感電する？しない？ 燃える鉛筆光る芯、磁気記録の秘密など	電気回路　磁気 [課題]内容の復習と発展学習(1～3h)
11	ハイテクも原理は簡単　光も電磁波 なんでもマイク・スピーカー、次々生まれる簡単モーターなど	電磁誘導、電磁波 [課題]内容の復習と発展学習(1～3h)
12	押しつぶしの科学　自然の階層性 「人間・アリ・象」「ゾウの時間ネズミの時間」 宇宙から素粒子まで、大きさ比べでここまでわかる	サイズの物理　原子・宇宙 [課題]内容の復習と発展学習(1～3h)
13	原子から宇宙へ　放射線、医療への応用 放射線の人体への影響、医療への応用など	核エネルギー・放射線 [課題]内容の復習と発展学習(1～3h)
14	経験をたよりにすれば間違えるのは当たり前 高校生・大学生の力学概念調査から	運動の法則、力学的エネルギー [課題]内容の復習と発展学習(1～3h)
15	動いていてもそれを感じない世界の発見 地動説と近代科学の原点	慣性の法則、相対性原理 [課題]内容の復習と発展学習(1～3h)

時間外での学習	小レポート、最終レポート作成に関して早くから関連資料、書籍をよく読み、調べ、自己の見解をまとめておくこと。
受講学生へのメッセージ	毎回授業に出席し、興味ある分野を調べるなど、関連する資料・書籍を読み、授業以外でも友人と議論するように心がけてください。 オフィスアワーは、講義終了後、非常勤講師控え室へ来てください。

基礎化学	教養科目		1年後期	
	2単位		講義	30時間

[教員]：纐纈　守

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容	「化学」は“ものづくり”の基本であり、電気系、情報系や自動車などの様々な産業分野に機能性を有する材料を提供する学問分野です。皆さんのまわりには「化学」が関わる様々な現象や材料に満ち溢れています。身のまわりの様々な現象も「化学」を学修することで初めて理解でき、説明に納得がいきます。本講義では、少しでも「化学」に親しんでもらうために身近なものや事例をとりあげて、ご自身の実体験とともに整理しながら化学の重要性を理解していきます。
授業方法	講義、ディスカッション、グループ討論、プレゼンテーションなど。
到達目標	1.[知識・理解]　化学の基本的概念を理解する。(◎) 2.[思考・判断・表現]　化学に関して習得、理解した知識を、日常生活と結びつけて科学的・総合的判断に活用することができる。(◎) 3.[関心・意欲・態度]　化学と日常生活とのかかわりに興味や関心を持ち、主体的、意欲的に学修に取り組むことができる。(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
筆記試験	30	20	−	−	50
発表（グループ発表含む）	−	10	−	10	20
レポート	−	10	−	−	10
小テスト	10	−	−	−	10
自己評価	−	−	−	10	10
合　計	40	40	−	20	100

成績評価と割合	筆記試験 50%、発表 20%、レポート 10%、小テスト 10%、自己評価 10% の合計100%で評価します。 遅刻・欠席は減点、講義回数の1/3以上欠席した場合は単位を与えません。
テキスト	『身の回りから見た化学の基礎』（ISBN:978-4759812923）化学同人(売店で購入してください)
参考書・教材	適宜、資料を配布します。また、必要に応じて参考書などを紹介します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	金属の特徴を知ろう（1）貴金属（金、銀） 地球上にある物質をまとめた周期表、いろいろな元素について学んでみよう 最初は貴金属（金、銀）から 憧れの貴金属の特徴を知ろう [準備・課題]身近な貴金属とその利用の現状をまとめる(1h)
2	金属の特徴を知ろう（2）金属（白金、鉄） 憧れのプラチナ（白金）や鉄の特徴を知ろう [準備・課題]白金や鉄の利用の現状をまとめる(1h)
3	金属の特徴を知ろう（3）重金属 体に重要な必須微量金属から4大公害病など重金属の重要性、毒性について学ぼう [準備・課題]必須微量金属はどんな食品から摂取できるかまとめる 毒性のある重金属の所在を調査する(1h)
4	化学の知識で料理上手になろう（1）水、料理（味覚、香り） 水の特徴や種類、性質を学ぶ 味と香りは料理の重要な要素、どんな物質がそれらの性質を示しているか理解する [準備・課題]人間にとって欠かせない水の特性と性質についてまとめる 料理で重要な味や香りに関して物質レベルで理解する(1h)
5	化学の知識で料理上手になろう（2）5大栄養素、うま味成分 5大栄養素、うま味成分（アミノ酸、核酸）を理解する [準備・課題]5大栄養素、うま味成分について学んだことを復習する(1h)
6	化学の知識で料理上手になろう（3）発酵 発酵とは？　アルコール、酢、みりん、みそ、ヨーグルト、漬物、寿司など発酵食品の種類、製法や発酵の過程について学ぶ [準備・課題]発酵について学んだことを整理する(1h)
7	化学の知識で料理上手になろう（4）物質の状態変化、浸透圧、加熱 調理の際に用いる調理法は物質の状態変化 圧力鍋、浸透圧、加熱など化学的現象を理解し調理に役立てる知恵を獲得する [準備・課題]調理と物質の状態変化について復習する(1h)
8	化学がかかわる被服関連の知識を獲得しよう（1）繊維、染料 衣服に使われている繊維の種類と特徴、染料の種類と特徴を学ぶ [準備・課題]身の回りの衣服に使われている繊維や染料の種類などをラベル表示などから整理し理解する(1h)
9	化学がかかわる被服関連の知識を獲得しよう（2）石けん、界面活性剤、ドライクリーニング 洗濯の際に用いる石けんの役割、洗髪の際のシャンプーなど界面活性剤について理解する [準備・課題]石けんをはじめとした界面活性剤の知識について整理する(1h)
10	エネルギー（1）自然エネルギー 太陽エネルギーを利用したソーラーセルや風力発電など自然エネルギーについて学ぶ [準備・課題]太陽光発電、風力発電、地熱発電など自然エネルギーの実情と課題や今後の予測について整理する(1h)
11	エネルギー（2）電池、バッテリー 電池の開発の歴史、電池の種類、製法と特徴を理解し日常生活で上手に使い分ける方法を理解する [準備・課題]スマホなど身の回りの電池について調べ、整理する(1h)
12	エネルギー（3）石油、燃焼 人類のエネルギー供給源、プラスティックの原料など石油の重要度と応用実態を把握 [準備・課題]石油の現状と役割を整理し理解する(1h)
13	プラスティック 一言でプラスティックと言っても様々な種類があります スーパーの袋、PETボトル、クリアファイル、ボールペンなど身の回りに限りなくあるプラスティック製品を探して整理しよう [準備・課題]プラスティック製品の特長を理解し身の回りの製品を改めて見つめなおす(1h)

内容	
実施回	授業内容・目標
14	医薬品と農薬 　医薬品・農薬は、人類に大きな恩恵をもたらしてきた 　具体的にどんなものが開発され、どのように利用されているか学ぶ [準備・課題]医薬品・農薬の開発の歴史と人類への貢献を整理し理解する（1h）
15	まとめ [準備・課題]総合的なまとめ復習、最終試験の準備(3h)

時間外での学習	理系科目は嫌い、「化学」はおぼえることが多くて嫌い、わからない、難しいといった印象を持っている人が多いかもしれません。日常生活の中で、「化学」がどのように関わっているか、意識して探してみましょう。食品、洗剤など日用品についている成分表なども注意して見てみると面白いですよ。実は皆さんは毎日「化学」に接していてその恩恵に預かっているんです。 講義中に確認のための小テストを行います。
受講学生へのメッセージ	幼少期、皆さんが「どうして？」「なぜ？」といった疑問を大人の人たちに質問していたことを思い出して、「化学」の世界を一緒に覗いてみましょう。 オフィスアワー：質問などは講義前後の時間に直接、あるいは、電子メールアドレスにて問い合わせてください。（koketsu@gifu-u.ac.jp）

基礎生物	教養科目		1年前期	
	2単位		講義	30時間

[教員]：早川　公英

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容	地球が46億年前に誕生してから8億年後の38億年前に生命体は地球上に出現し、進化しながら悠久の時を刻んでいる。生物は、個体の維持と種族の維持という二重の歴史を背負って、生命を連綿と継続している。生物の構造や機能の基礎的分野について学ぶ。
授業方法	講義
到達目標	1.[知識・理解]　生物の形態や機能を理解し、生物学的視野を広めることを目標とする。　(◎) 2.[思考・判断・表現]　生物学的知見から、我々の生活の中での課題や問題点を見出し、それに対する解決を達成できる。　(○) 3.[技能]　生物学の膨大な情報の中から、適切なものを取捨選択し、考察できる。　(○) 4.[関心・意欲・態度]　身近な話題と生物学の知識を組み合わせ、それに対する自分の意見を持ち、表明できる。　(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
筆記試験	45	15	15	−	75
自己評価	5	5	−	−	10
受講態度	−	−	−	15	15
合　計	50	20	15	15	100

成績評価と割合	試験 75%、学修成果の自己評価 10%、受講態度 15% の合計100%で評価する。
テキスト	『生物学入門 第2版』 (ISBN978-4-8079-0812-7)東京化学同人(売店で購入してください)
参考書・教材	『ケイン基礎生物学　原著第4版』東京化学同人

内容

実施回	授業内容・目標
1	生物の分類に貢献したリンネの二名法について学び、ヒトの分類学的位置を説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習 (3h)
2	生命体を構成する細胞の構造について説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習 (3h)
3	細胞の小器官について知り、その働きを説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習 (3h)
4	体細胞分裂と減数分裂について説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習 (3h)
5	染色体と遺伝子の基本構造を説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習 (3h)
6	有性生殖と無性生殖を理解し、個体の誕生を説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習 (3h)
7	動物の主要な反応と調節について説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習 (3h)
8	動物の内部環境の調節について説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習 (3h)
9	地質時代と生物界の変遷について説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習 (3h)
10	進化、系統、適応について説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習 (3h)
11	人類の起源と進化について説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習 (3h)
12	直立二足歩行がもたらしたヒトの体の特徴について説明できる。(1) [準備・課題]学んだ内容の復習 (3h)
13	直立二足歩行がもたらしたヒトの体の特徴について説明できる。(2) [準備・課題]学んだ内容の復習 (3h)
14	日本人の成立に関する二重構造論についての生物学的証拠を説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習 (3h)
15	生命科学技術と社会について説明できる。 [準備・課題]学んだ内容の復習 (3h)

時間外での学習	授業内容が広範囲なので、復習をしてください。
受講学生へのメッセージ	講義ノートを整理してください。 オフィスアワーは教室にて講義終了後です。

子育て入門	教養科目		1年後期	
	2単位		講義	30時間

[教員]：今村　民子

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容	子どもの将来の健やかな成長・発達の基礎は母親が子どもの「育つ力」を信じて笑顔で寄り添い、子ども時代に「本当の子どもの生活を楽しむ」ことにあります。未来の母親に子どもを信じ、子どもと楽しく関わり、母親自身も生き生きと子育てを楽しむための基礎作りを図ります。
授業方法	講義を中心にしながら、ビデオ視聴、グループディスカッション等も取り入れて、学生の意見交換の場を取り入れます。
到達目標	1.[知識・理解]　母親になり子どもを育てる基盤となる内容の理解を深め、知識を身につけることができる。(◎) 2.[思考・判断・表現]　時代の変化や様々な価値観のある中で、母としての在り方・生き方及び子どもを育てるための柔軟な対応を身につけ、子育ての基礎を培うことができる。(○) 3.[技能]　母として必要な社会生活の基本や、コミュニケーション能力の基礎を身につけることができる。(○) 4.[関心・意欲・態度]　学修内容に興味や関心を持ち、見通しをもって主体的・意欲的に取り組むことができる。(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
筆記試験	30	−	−	−	30
授業ごとの振り返り	10	10	−	10	30
発表・レポート	−	−	5	5	10
受講態度	−	10	10	10	30
合　計	40	20	15	25	100

成績評価と割合	筆記試験30%、授業ごとの振り返り30%、発表・レポート10%、受講態度30% の合計 100%。 3分の1以上欠席した学生は単位不認定です。
テキスト	なし
参考書・教材	なし

内容	
実施回	授業内容・目標
1	ガイダンス　「子育て・子育ちの理解を深め、子どもの素晴らしさを知る！」 まず自分自身の子ども時代を振りかえりながら「自分育ち」を見つめ直し自分理解から入る [課題]学修した内容を復習する(2h)
2	乳児保育がどのように普及してきたか。戦後乳児への保育はどのように進んで行ったのか。現在の少子化の現状や対策、制度について学ぶ [課題]学修した内容を復習する(2h)
3	家庭における養育の現状と家庭で暮らす乳幼児の生活について知る [課題]学修した内容を復習する(2h)
4	子育てをめぐる親の意識と状況について [課題]学修した内容を復習する(2h)
5	子どもの絵の発達について [課題]学修した内容を復習する(2h)
6	子どもの「つくる」の発達について①感覚遊びの重要性 [課題]学修した内容を復習する(2h)
7	子どもの「つくる」の発達について②巧緻性を育む造形あそび [課題]学修した内容を復習する(2h)
8	子育てと児童文化① [課題]学修した内容を復習する(2h)
9	子育てと児童文化② [課題]学修した内容を復習する(2h)
10	子育てと児童文化③ [課題]学修した内容を復習する(2h)
11	子育ての中で親しむ行事のあり方　クリスマスやお正月などどのように楽しむか [課題]学修した内容を復習する(2h)
12	おおむね0歳の子どもの発達と遊びや世話について [課題]学修した内容を復習する(2h)
13	おおむね1歳の子どもの発達と遊びや世話について [課題]学修した内容を復習する(2h)
14	おおむね2歳の子どもの発達と遊びやお世話について [課題]学修した内容を復習する(2h)
15	自然の中で子育てを　森のようちえんで五感をそだてること [課題]学修した内容を復習する(2h)

時間外での学習	学んだ内容に関わる子育て事例を通して「自分の育ち」を振り返り、将来の母親像につなげていきましょう。
受講学生へのメッセージ	子育てについてのアラカルトを紐解きながら、子どもの心や接し方を学び、子育てに喜びや楽しみが持てる母親としての基本的資質の涵養を目指しましょう。 オフィスアワーは、教室で講義後に行います。

音楽療法入門	教養科目		1年前期	
	2単位		講義	30時間

［教員］: 小西　文子

［関連する資格・履修制限等］:

授業内容	音楽療法とは何かについて、音楽療法の歴史を踏まえながら現在行われている音楽の療法的活用について学ぶ。実際の音楽活動も授業内に取り入れ、音楽が人の心と身体にどのように作用するか体験する。
授業方法	講義と簡単な演習、音楽療法の実践現場のＤＶＤやＣＤの視聴も授業内で行う。
到達目標	1.［知識・理解］　音楽療法について基礎的な知識を得ている。　(◎) 2.［思考・判断・表現］　高齢者、児童、成人を対象とした音楽療法について、どのような働きかけが適当か判断、表現することができる。　(◎) 3.［関心・意欲・態度］　音楽の療法的な用いられかたについて関心や意欲をもち学修に取り組むことができる。　(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
試験	40	20	－	－	60
提出物	－	20	－	20	40
合　計	40	40	－	20	100

成績評価と割合	試験 60%、提出物 40% の 合計100%で評価します。 欠席は減点とし、授業回数の1/3以上欠席した学生は受験資格がありません。 レポートなど、授業で出した課題の提出のない学生には単位を与えません。
テキスト	『補完・代替医療音楽療法 第3版』金芳堂(売店で購入してください)
参考書・教材	授業内でプリントを配布します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	音楽療法の定義、聴取型音楽療法と能動的音楽療法の違い、能動的音楽療法の種類について [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1～2h)
2	音楽療法の歴史１：原始時代から古代ギリシャにかけて [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1～2h)
3	音楽療法の歴史２：古代ギリシャから中世、近代の音楽療法の発展について [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1～2h)
4	高齢者の音楽療法１：認知症の種類、音楽活動について [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1～2h)
5	高齢者の音楽療法２：実際の音楽療法活動 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1～2h)
6	高齢者の音楽療法３：歌唱、楽器、即興演奏と連想について [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1～2h)
7	児童分野の音楽療法１：特別支援教育について、自閉症について [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1～2h)
8	児童分野の音楽療法２：不登校児、ぜんそく児への音楽療法 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1～2h)
9	児童分野の音楽療法３：行動主義アプローチについて [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1～2h)
10	精神科の音楽療法：統合失調症について、実際の音楽活動 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1～2h)
11	医療現場の音楽療法１：ホスピス、緩和ケアの音楽療法 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1～2h)
12	医療現場の音楽療法２：看護師と取り組む音楽療法 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1～2h)
13	医療現場の音楽療法３：ＮＩＣＵにおける音楽療法 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1～2h)
14	さまざまな現場の音楽療法：教育、福祉、医療、地域における音楽療法 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1～2h)
15	音楽療法の手順、目標設定について [準備・課題]これまでのまとめ(1～2h)

時間外での学習	各授業で用いたプリントや教科書を読み返し、理解を深めること。
受講学生へのメッセージ	楽器を演奏する体験、立ち上がってちょっとした動きをする体験などが授業に含まれます。積極的に参加してください。 オフィスアワーは研究室（Ｂ403：Ｂ号館4階）で毎週木曜日の13：00～14：30です。

美術入門	教養科目		1年後期	
	2単位		講義	30時間
［教員］: 竹村　朋子				
［関連する資格・履修制限等］:				

授業内容	西洋美術の通史の中で各時代様式を取りあげ、その代表する芸術作品を紹介しながら「見る」こととは何かを考えます。
授業方法	プリント、映像資料を用いた講義形式の授業
到達目標	1.［知識・理解］　通史に沿って授業を行い、西洋美術を理解するための必要な知識を身につける。　(◎) 2.［思考・判断・表現］　西洋美術作品をその歴史的制作背景等も含め深く理解できる。　(◎) 3.［関心・意欲・態度］　授業の中でいくつかの作品をピックアップして紹介し、詳細な観察及び分析を行うが、それについて疑問・感想を自分の言葉で表現することができる。　(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
筆記試験	40	10	−	−	50
コメントペーパー	−	30	−	10	40
課題の遂行	−	−	−	10	10
合　計	40	40	−	20	100

成績評価と割合	筆記試験 50%、コメントペーパー 40%、課題の遂行 10% の合計100%で評価します。 なお、3分の1以上欠席した学生には単位修得及び筆記試験受験の資格はありません。
テキスト	ありません。
参考書・教材	プリント・資料は授業ごとに配布します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	ガイダンス　イントロダクション　授業の流れを説明する
2	ギリシア美術・ローマ美術　ギリシア、ローマ美術の特徴を彫刻や壁画から理解する ［準備・課題］授業内容の復習(3h)
3	中世美術①(初期キリスト教美術・ビザンティン美術)　キリスト教が美術作品に与えた影響を学ぶ ［準備・課題］授業内容の復習(3h)
4	中世美術②(初期中世美術・ロマネスク美術) さらに広がるキリスト教美術の影響を美術作品や建築物から理解する ［準備・課題］授業内容の復習(3h)
5	中世美術③(ゴシック美術)　教会堂建築及び教会堂扉口彫刻から当時の思想を読み解く ［準備・課題］第5回までの授業の復習プリント(4h)
6	イタリア初期ルネサンス美術 マザッチョ、フラ・アンジェリコなどの作品を取り上げ、その特徴を理解する ［準備・課題］授業内容の復習(3h)
7	イタリア盛期ルネサンス美術① ルネサンス期の頂点を極めるこの時代を、ダ・ヴィンチの作品を中心に取り上げ、理解を深める ［準備・課題］授業内容の復習(3h)
8	イタリア盛期ルネサンス美術②　前週に引き続き、盛期ルネサンスにおいて重要な役割を果たした ラファエロ、ミケランジェロの作品を取り上げ、ルネサンス美術について総括する ［準備・課題］授業内容の復習(3h)
9	マニエリスム　エル・グレコなどの作品から、マニエリスムの特徴を理解する ［準備・課題］授業内容の復習(3h)
10	北方美術(ファン・エイクなど) ファン・エイクなどの作品から、ルネサンス美術とは異なる北方美術の特性を観察する ［準備・課題］第6回から10回までの授業内容の復習プリント(4h)
11	バロック美術①(カラヴァッジョ、ベラスケスなど)　ヨーロッパ各地に広まったバロック美術について、 イタリア、スペインの代表的な画家であるカラヴァッジョやベラスケスの作品を取り上げ、その様式の 特徴と作品の特性について理解する ［準備・課題］授業内容の復習(3h)
12	バロック美術②(レンブラントなど) 前週に引き続き、バロック美術について学修し、その中でもレンブラントを中心に取り上げる ［準備・課題］授業内容の復習(3h)
13	ロココ美術 ロココ美術では、ヴァトーとフラゴナールの作品を取り上げ、その主題や様式の特性を理解する ［準備・課題］授業内容の復習(3h)
14	近代美術①(新古典主義・ロマン主義など)　めまぐるしく変化する時代の中で生まれた近代美術について、新古典主義、ロマン主義の作品を見ていく ［準備・課題］授業内容の復習(3h)
15	近代美術②(写実主義・印象派など)　前週に引き続き、近代美術として、写実主義、印象派の作品を扱う。産業革命などの技術的革新が芸術作品に及ぼした影響を踏まえて作品を理解する ［準備・課題］第11回から15回までの復習プリント(4h)

時間外での学習	美術に関する本なども読んでみましょう。 また、興味をもった展覧会などにも足を運び、実際に作品を鑑賞することも大事です。
受講学生へのメッセージ	絵画でも彫刻でも身の回りにあるものなど興味のあるものを注意深く観察してみましょう。それによって美術史への理解が深まるのです。 オフィスアワーは水曜日の12時10分～13時です。(講義室あるいは非常勤講師控室におります。)

スポーツ演習Ⅰ	教養科目		1年前期	
	1単位		演習	30時間
[教員]：中野　由香里・日比　千穂				
[関連する資格・履修制限等]：				

授業内容	「筋力」「持久力」「瞬発力」「心肺持久力」「敏捷性」「柔軟性」といった運動要素や身体の動きを総合的にコントロールする「調整力」をバランスよく向上させるため、楽しみながらできるスポーツやゲームを通じて集団意識を高め、定期的に運動を行うことで健康的な生活習慣を確立させる事がねらいです。
授業方法	グループや個人で活動します。第8回・15回は実技試験（体力測定・記録会）となります。この授業は全て実技になります。
到達目標	1.[知識・理解]　ニュースポーツやレクリエーション・ゲームのルールを理解し、体験することができる。（○） 2.[思考・判断・表現]　健康的な生活習慣を確立させるよう、スポーツを通じて体力づくりを心がけることができる。（○） 3.[技能]　スポーツやゲームのおもしろさを十分に体験し、各種ゲームを通じて仲間と協力することでより良いプレーができる。（◎） 4.[関心・意欲・態度]　自分の体について興味関心を持ち、積極的にスポーツやゲームに参加することができる。（○）

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
受講態度	15	－	15	－	30
実技試験	－	10	20	10	40
レポート	－	－	－	15	15
自己評価	－	15	－	－	15
合　計	15	25	35	25	100

成績評価と割合	受講態度 30%、実技試験(2回) 40%、レポート(毎回) 15%、自己評価(毎回) 15% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。
テキスト	なし
参考書・教材	なし

内容	
実施回	授業内容・目標
1	ガイダンス（授業内容の説明）、準備運動、アイスブレーキング１、チャレンジ・ザ・ゲームについて [準備・課題]授業内容を把握し、準備体操の復習をする。（1h～2h）
2	アイスブレーキング２、インディアカ（グループ分け・練習） [準備・課題]インディアカのルールを理解し、作戦を立てる。（1h～2h）
3	アイスブレーキング３、インディアカ（試合） [準備・課題]インディアカのルールの試合を振り返り、レポートにまとめる。（1h～2h）
4	アイスブレーキング４、ソフトバレーボール（グループ分け・練習） [準備・課題]ソフトバレーボールのルールを理解する。（1h～2h）
5	アイスブレーキング５、ソフトバレーボール（試合） [準備・課題]ソフトバレーボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。（1h～2h）
6	アイスブレーキング６、キンボール（練習） [準備・課題]キンボールのルールを理解する。（1h～2h）
7	アイスブレーキング７、キンボール（試合） [準備・課題]キンボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。（1h～2h）
8	体力測定（実技試験） [準備・課題]自分の体力について知り、生活習慣の見直しをする。（1h～2h）
9	集団ゲーム１、ドッジ・ビー [準備・課題]ドッジ・ビーのルールを理解し、取組を振り返る。（1h～2h）
10	集団ゲーム２、バドミントン（練習） [準備・課題]バドミントンのルールを理解し、作戦を立てる。（1h～2h）
11	集団ゲーム３、バドミントン（試合） [準備・課題]バドミントンの試合を振り返り、レポートにまとめる。（1h～2h）
12	チャレンジ・ザ・ゲーム（ロープジャンプ） [準備・課題]ロープジャンプのルールを理解する。（1h～2h）
13	チャレンジ・ザ・ゲーム（個人種目） [準備・課題]個人種目のルールを理解しする。（1h～2h）
14	チャレンジ・ザ・ゲーム（総練習） [準備・課題]記録会に向けて作戦を立てる。（1h～2h）
15	チャレンジ・ザ・ゲーム記録会（実技試験） [準備・課題]記録をレポートにまとめる。（1h～2h）

時間外での学習	毎時間の授業内容を把握し、体調管理に気を配る生活を心がけてください。
受講学生へのメッセージ	スポーツのおもしろさや達成感を十分に体験できるよう一所懸命に取り組んでください。 安全には十分に注意し、運動のできる服装と体育館シューズを必ず着用してください。 オフィスアワーは研究室（H203：H号館）で毎週金曜日の12：15～12：45です。

スポーツ演習Ⅱ	教養科目		1年後期	
	1単位		演習	30時間

[教員]：中野　由香里・日比　千穂

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容	親しみやすいスポーツとして「ニュースポーツ」を取り入れ、基礎体力作りを心がけて学修します。楽しみながらできるスポーツやゲームの中で集団意識を高め、定期的に運動を行うことで健康的な生活習慣を確立させるようにすることがねらいです。
授業方法	受講生同士の交流を深めるために、決められたグループで活動することがあります。第8回目、15回目は実技試験（体力測定・記録会）となります。15回全て実技となります。受講人数により、内容が変更される場合があります。
到達目標	1.[知識・理解]　ニュースポーツやレクリエーション・ゲームのルールを理解し、体験することができる。（○） 2.[思考・判断・表現]　健康的な生活習慣を確立させるよう、スポーツを通じて体力づくりを心がけることができる。（○） 3.[技能]　スポーツやゲームのおもしろさを十分に体験し、各種ゲームを通じて仲間と協力しながら記録に挑戦す。（◎） 4.[関心・意欲・態度]　自分の体についてよく理解し、興味関心を持ち、積極的に運動と関わることができる。（○）

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
受講態度	15	－	15	－	30
実技試験	－	10	20	10	40
レポート	－	－	－	15	15
自己評価	－	15	－	－	15
合　計	15	25	35	25	100

成績評価と割合	受講態度 30%、実技試験(2回) 40%、レポート(毎回) 15%、自己評価(毎回) 15% の 合計 100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。
テキスト	なし
参考書・教材	なし

内容	
実施回	授業内容・目標
1	ガイダンス（授業内容の説明）、準備運動、アイスブレーキング、ドッジ・ビー [準備・課題]授業内容を把握する。（1h～2h）
2	アイスブレーキング１、インディアカ（グループ分け・練習） [準備・課題]インディアカのルールを理解し、作戦を立てる。（1h～2h）
3	アイスブレーキング２、インディアカ（試合） [準備・課題]インディアカの試合を振り返り、レポートにまとめる。（1h～2h）
4	アイスブレーキング３、ソフトバレーボール（グループ分け・練習） [準備・課題]ソフトバレーボールのルールを理解し、作戦を立てる。（1h～2h）
5	アイスブレーキング４、ソフトバレーボール（試合） [準備・課題]ソフトバレーボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。（1h～2h）
6	アイスブレーキング５、バスケットボール（グループ分け・練習試合） [準備・課題]バスケットボールのルールを理解し、作戦を立てる。（1h～2h）
7	アイスブレーキング６、バスケットボール（試合） [準備・課題]バスケットボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。（1h～2h）
8	体力測定（実技試験） [準備・課題]自分の体力について知り、生活習慣の見直しをする。（1h～2h）
9	集団ゲーム１、キンボール（練習） [準備・課題]卓球・キンボールのルールを理解する。（1h～2h）
10	集団ゲーム２、キンボール（試合） [準備・課題]キンボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。（1h～2h）
11	集団ゲーム３、バドミントン（練習・試合） [準備・課題]バドミントンの試合を振り返り、レポートにまとめる。（1h～2h）
12	チャレンジ・ザ・ゲーム（ロープジャンプ） [準備・課題]ロープジャンプのルールを理解する。（1h～2h）
13	チャレンジ・ザ・ゲーム（個人種目） [準備・課題]個人種目のルールを理解する。（1h～2h）
14	チャレンジ・ザ・ゲーム（総練習） [準備・課題]記録会に向けて作戦を立てる。（1h～2h）
15	チャレンジ・ザ・ゲーム記録会（実技試験） [準備・課題]記録会をレポートにまとめる。（1h～2h）

時間外での学習	毎時間の授業内容を把握し、体調管理に気を配る生活を心がけてください。
受講学生へのメッセージ	スポーツのおもしろさや達成感を十分に体験できるよう一所懸命に取り組んでください。安全には十分注意し、運動のできる服装と体育館シューズを必ず着用してください。 オフィスアワーは研究室（H203：H号館）で毎週金曜日の12：15～12：45です。

体育Ⅰ	教養科目		1年前期	
	1単位		実技	45時間

［教員］: 中野　由香里

［関連する資格・履修制限等］:

授業内容	第1回～第15回の授業では、親しみやすいスポーツとして「ニュースポーツ」を中心に基礎体力つくりを心がけて実施します。定期的に運動を行うことで健康的な生活習慣の確立を目指します。 16回～22回の授業では、コミュニケーションを図りながら集団意識を高めるために創作ダンスを実施します。仲間意識を大切にし、一つの作品を完成させて発表することがねらいです。
授業方法	第1回～15回の授業は、当日の種目をグループまたは個人で実施します。種目によって競技に発展することがあります。第16回～第22回の授業は、ダンスの基本的な動きを習得し、グループに分かれて創作ダンスを完成させます。
到達目標	1.［知識・理解］　体力づくりを心がけ、体育のおもしろさを十分に体験することができる。　(◎) 2.［思考・判断・表現］　集団活動のなかで自分の役割を把握し、集団意識を高めながらスポーツに参加することができる。　(○) 3.［技能］　創作ダンスについて理解し、テーマに沿った創作ダンスの発表ができる。　(○) 4.［関心・意欲・態度］　自己の体力について知ることで、生活スタイルの気づきや見直しができる。(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
レポート	40	－	－	－	40
自己評価	－	20	－	－	20
発表	－	－	15	－	15
受講態度	－	－	－	25	25
合　計	40	20	15	25	100

成績評価と割合	レポート(毎回) 40%、自己評価(毎回) 20%、発表(1回) 15%、受講態度 25% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。
テキスト	なし
参考書・教材	幼稚園教育要領貝解説、保育所保育指針、幼児体育、必要に応じて資料を配布します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	オリエンテーション(授業内容の説明):［準備・課題］授業内容を把握し、全体の計画を立てる。(1h～2h)
2	ドッジボール ［準備・課題］本時の授業を振り返り、コミュニケーションについてノートにまとめる。(1h～2h)
3	インディアカ(基本):［準備・課題］インディアカのルールを理解し、作戦を立てる。(1h～2h)
4	インディアカ(試合):［準備・課題］インディアカの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)
5	ソフトバレーボール(グループ分け・ミニゲーム) ［準備・課題］ソフトバレーボールのルールを理解し、作戦を立てる。(1h～2h)
6	ソフトバレーボール(試合) ［準備・課題］ソフトバレーボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)
7	体力測定(準備)、卓球:［準備・課題］体力測定について理解し、体調を整える。(1h～2h)
8	体力測定(実技試験):［準備・課題］自分の体力について知り、生活習慣の見直しをする。(1h～2h)
9	バスケットボール(チーム決め・チーム練習) ［準備・課題］バスケットボールのルールを理解し、作戦を立てる。(1h～2h)
10	バスケットボール(ミニゲーム) ［準備・課題］バスケットボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)
11	バドミントン(チーム決め・ミニゲーム) ［準備・課題］バドミントンのルールを理解し、作戦を立てる。(1h～2h)
12	バドミントン(試合):［準備・課題］バドミントンの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)
13	チャレンジ・ザ・ゲーム(基本) ［準備・課題］チャレンジ・ザ・ゲームの種目を理解し、作戦を立てる。(1h～2h)
14	チャレンジ・ザ・ゲーム(種目練習) ［準備・課題］個人種目を決定し、記録会に向けて準備をする。(1h～2h)
15	チャレンジ・ザ・ゲーム(記録会):［準備・課題］記録をレポートにまとめる。(1h～2h)
16	創作ダンスのＶＴＲをみてグループ決め ［準備・課題］創作ダンスのイメージをふくらませ、情報収集する。(1h～2h)
17	創作ダンス1(イメージづくり):［準備・課題］創作ダンスのイメージを整理する。(1h～2h)
18	創作ダンス2(イメージ・構成づくり) ［準備・課題］グループ内で役割を決定し、練習計画を立てる。(1h～2h)
19	創作ダンス3(構成まとめ):［準備・課題］構成の確認をし、発表に向けて練習をする。(1h～2h)
20	創作ダンス4(構成仕上げ):［準備・課題］発表に向けて練習をする。(1h～2h)
21	創作ダンス5(構成仕上げ・発表練習):［準備・課題］発表の最終確認をし、準備する。(1h～2h)
22	創作ダンス6(舞台発表):［準備・課題］発表を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)

時間外での学習	毎時間の授業内容を把握し、体調管理に気を配る生活を心がけてください。 また、発表に向けてグループ練習を積極的に実施ししてください。
受講学生へのメッセージ	スポーツのおもしろさや達成感を十分に体験できるよう一所懸命に取り組んでください。安全には十分注意（熱中症対策は各自準備すること）してください。運動のできる服装と体育館シューズを必ず着用してください。 オフィスアワーは研究室（H203：H号館）で毎週金曜日の12：15～12：45です。

体育Ⅱ	教養科目		1年前期	
	1単位		講義	15時間

［教員］: 中野　由香里

［関連する資格・履修制限等］:

授業内容	健康は、充実した生活を送るために不可欠となる要因のひとつです。より良い健康的な生活を送るために、自分自身の生活習慣を見直し、健康について基礎知識を身につけます。
授業方法	全て講義となります。グループ活動による調べ学習形式です。図書館等を利用し調べたことをまとめて発表します。
到達目標	1.［知識・理解］　健康について理解し発表することができる。（◎） 2.［思考・判断・表現］　課題を作成し、提出することができる。（○） 3.［技能］　自分自身のライフスタイルの見直しができる。（○） 4.［関心・意欲・態度］　計画的に学習する姿勢がみられる。（○）

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
レポート	40	−	−	−	40
提出物	−	20	−	−	20
発表	−	−	10	−	10
小テスト	−	−	10	−	10
受講態度	−	−	−	20	20
合　計	40	20	20	20	100

成績評価と割合	レポート(毎回) 40%、提出物 20%、発表(1回) 10%、小テスト(1回) 10%、受講態度 20% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。
テキスト	なし
参考書・教材	幼稚園教育要領具解説、保育所保育指針、幼児体育 資料は、必要に応じて配布します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	ガイダンス（グループ分け）、ライフスタイルの見直し ［準備・課題］調べ学習について理解し、自分の担当領域の確認と今後の計画をノートにまとめる。（4h～6h）
2	調べ学習のテーマについて（調べ学習の計画） ［準備・課題］調べ学習のテーマについて理解しする。（4h～6h）
3	調べ学習１ ［準備・課題］生活習慣について見直し、生活リズムの改善を試みる。（4h～6h）
4	調べ学習２ ［準備・課題］日々の生活の中で正しい姿勢を心がける。（4h～6h）
5	調べ学習３ ［準備・課題］本時の内容についてノートにまとめる。（4h～6h）
6	調べ学習まとめ ［準備・課題］発表の準備。（4h～6h）
7	発表 ［準備・課題］課題提出に向けてノートをまとめる。（4h～6h）
8	小テスト ［準備・課題］筆記試験に向けてノートをまとめ、復習する。（4h～6h）

時間外での学習	毎時間の授業内容を把握し、自分の生活スタイルの見直しに心がけてください。
受講学生へのメッセージ	毎時間の授業の中でメモを取ることを忘れず、自分の生活スタイルに役立てるよう集中して受講してください。 オフィスアワーは研究室（H203：H号館）で毎週金曜日の12：15～12：45です。

情報科学	教養科目		1年前期	
	1単位		演習	30時間

[教員]：大橋　みどり・梶山　記久子

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容	現代社会において必須となっているIT基本ツールであるWord（ワード・ワープロソフト）およびExcel(エクセル・表計算ソフト）の操作方法を習得し、社会人として即戦力と成り得る技能を身に着ける。 Word：社内外向け文書、ビジュアル要素を取り入れた文書を見栄えよく作成する。 Excel：表作成・計算式や関数入力・グラフ作成を基礎から学修する。
授業方法	講義およびパソコン演習
到達目標	1.[知識・理解]　コンピュータの基本的操作ができる。WordおよびExcelの基本的な操作ができる。　(○) 2.[思考・判断・表現]　Wordにおいては目的に即した見る人にわかりやすく美しい文書が作成できる。 Excelにおいては適切な表書式の設定、基本的な式や関数の使用、効果的なグラフの選択ができる。 (◎) 3.[技能]　Wordにおいては自分でレイアウトを考えて実用的な文章が作成できる。また、指定された文書を間違いなく素早く作成できる。Excelにおいては表計算の基礎知識を有する。　(◎) 4.[関心・意欲・態度]　演習に意欲的に取り組むことができる。コンピュータ操作、Word、Excel等の操作を進んで取得しようとする。授業中に完成できなかった練習問題は次週までに仕上げておく。　(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
Word課題提出	10	15	15	－	40
Excel筆記試験	10	15	15	－	40
受講態度	－	－	－	20	20
合　計	20	30	30	20	100

成績評価と割合	Word：課題提出(第8回に実施）40%、Excel：筆記試験(定期テスト期間に実施）40%、 受講態度(毎回）20% の合計100%で評価します。 3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。
テキスト	『30時間でマスター　Word&Excel2007』実教出版株式会社(売店で購入してください)
参考書・教材	USBフラッシュメモリーを各自準備してください。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	IT基礎：授業ガイダンス。パソコン、IT基礎（学内パソコン使用上の注意、インターネット基礎、ネットワーク使用上の注意点など）について学び、パソコン、ネットワークを正しく使えるようになる。 [準備・課題]学んだ内容を復習・確認し、パソコン、ネットワークを正しく使えるようになる。(0.5h)
2	Word：Word2007の画面構成及び用語、基本操作（起動・終了・文書の作成・保存など）について学ぶ。 [準備・課題]Wordの基本操作（起動・終了・文書の作成・保存など）ができるようになる。(1h)
3	Word：いろいろな編集機能（文字の装飾・書式設定など）を用いて見易い文書を作成できるようになる。 [準備・課題]編集機能を復習する。(1h)
4	Word：表の挿入・編集を学ぶ。基本的な表から始め、複雑な表を作れるようになる。 [準備・課題]複雑な表が作成できるよう復習する。(2h)
5	Word：ビジュアル要素（ワードアート・クリップアート・図形・ページ罫線など）の挿入方法を学び、見易くインパクトのある文書を作成できるようになる。 [準備・課題]ビジュアル要素挿入の復習をする。(1h)
6	Word：問題演習　いろいろな用途に応じた文書を作成する。 [準備・課題]授業中に完成できなかった問題を完成させる。(1h)
7	Word：問題演習　用途に応じ、ビジュアル要素の入った文書を作成できるようになる。 [準備・課題]授業中に完成できなかった課題を完成させる。(1h)
8	Word：課題作成・提出 学科ごとに与えられたテーマに従って、わかりやすく見栄えの良い文書を作成する。 [準備・課題]これまで学修したWordの各機能について総復習する。(2h)
9	Excel：Excel2007の画面構成及び用語、基本操作(起動・終了・ブックの作成・保存など)について学ぶ。 [準備・課題]Excelの基本操作（起動・終了・文書の作成・保存など）ができるようになる。(1h)
10	Excel：計算式の入力方法、合計・平均の計算、書式の設定。 [準備・課題]Excelの基本入力ができ、書式を整えた表が作成できるようになる。(2h)
11	Excel：グラフの作成方法を学ぶ。 基本的なグラフからはじめ、見やすく効果的なグラフが作成できるようになる。 [準備・課題]見やすく効果的なグラフを素早く的確に作成できるよう操作の復習をする。(2h)
12	Excel：基本的な関数（最大・最小・COUNTなど）の挿入ができるようになる。 [準備・課題]関数挿入方法を復習する。(1h)
13	Excel：絶対参照を用いる場合とその使い方を習得する。 [準備・課題]絶対参照を使用する場合の確認とその使用方法を復習する。(3h)
14	Excel：IF関数など、複雑な関数の挿入ができるようになる。 [準備・課題]複雑な関数の挿入方法を復習する。(2h)
15	Excel：問題演習　表作成から関数挿入、グラフ作成まで総合的な問題を処理する。 [準備・課題]授業中に完成できなかった問題を完成させる。

時間外での学習	授業時間内にできなかった練習問題等は次の時間までに仕上げておくようにしてください。学内・自宅において空き時間を見つけて積極的にパソコンを使用し、パソコンに慣れ、技能を身につけてください。入力が苦手な人は進んで入力練習をしてください。
受講学生へのメッセージ	演習中心の授業となるため授業中は積極的に課題に取り組んでください。私語・私事は厳禁です。 オフィスアワーは授業後パソコン室で行います。

情報活用（幼児教育学科）	教養科目		1年後期	
	1単位		演習	30時間

[教員]：矢田貝　真一

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容	暮らしの中には情報があふれ、この情報の活用のためにさまざまな分野でコンピュータが利用されています。情報とは何か、生活を豊かにするためには情報をどのように活用するべきなのか考え、特に保育者としてコンピュータをどのように利用すべきなのかなどについて理解しながら、保育に関するプレゼンテーション能力を中心に情報活用の発展的なスキルを身につけていきます。
授業方法	保育を中心にしながら情報の意味や実際の活用について、コンピュータを活用した作品づくりをとおして学ぶという演習形式の授業を展開します。
到達目標	1.[知識・理解]　情報や情報機器に関する基本的な知識を身につけることができる。（○） 2.[思考・判断・表現]　情報を活用することをとおして、専門分野と関連する基本的な思考力や判断力、表現力を身につけることができる。（○） 3.[技能]　情報機器の活用についての基本的技能を身につけることができる。（◎） 4.[関心・意欲・態度]　情報活用について興味や関心を持ち、将来の社会的役割と結びつけながら活用する努力や工夫をして、積極的に学修に取り組むことができる。（○） （◎・○・△は、教養科目のDP・到達指標との結びつきの強さを示しています。）
観点別評価	知識・理解 / 思考・判断・表現 / 技能 / 関心・意欲・態度 / 合計 実技試験：10 / － / 20 / － / 30 制作物・発表：10 / 10 / 20 / － / 40 課題：－ / 5 / － / 5 / 10 学修成果の自己評価：－ / 5 / － / 5 / 10 受講態度(学修･提出等の状況)：－ / － / － / 10 / 10 合　計：20 / 20 / 40 / 20 / 100
成績評価と割合	実技試験(1回) 30%、制作物・発表 40%、課題 10%、学修成果の自己評価 10%、受講態度(学修･提出等の状況) 10% の合計100％で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。
テキスト	ありません。
参考書・教材	必要な資料は配付しますが、別にフラッシュメモリーが必要です(授業で指示します)。

内容	
実施回	授業内容・目標
第1週	ガイダンス、コンピュータについての基本的知識と技能の確認 [準備・課題]基本的知識や技能を復習する(1～3h)
第2週	情報活用に関する基本的知識と技能(1)(コンピュータの特性、基本ソフトの利用方法など) [準備・課題]学んだ内容と基礎となる基本的技能を復習する(1～3h)
第3週	情報活用に関する基本的知識と技能(2)(著作権の概要と留意内容、ネチケットなど) [準備・課題]学んだ内容と基本的技能を復習する(1～3h)
第4週	保育における情報活用(保育者として身につけておくべき知識・技能、保育現場の状況など) [準備・課題]学んだ内容を復習し具体的な保育現場での活用例を調べてまとめる(1～3h)
第5週	プレゼンテーションの準備(1) 利用ソフトの概要(MS Power Pointの概要と使い方、文書ソフトの復習と活用) [準備・課題]学んだソフトについて復習する(1～3h)
第6週	プレゼンテーションの準備(2)文書ソフト等とMS Power Point の基本練習(基本操作の理解と習得) [準備・課題]学んだソフトについて活用できるように復習する(1～3h)
第7週	プレゼンテーション資料の作成(1)(幼児教育に関する課題の説明、テーマの選択、資料作成) [準備・課題]テーマを決定して計画を完成させる(1～3h)
第8週	プレゼンテーション資料の作成(2)(文書ソフト等とMS Power Pointを用いた資料の作成；その1) [準備・課題]資料作成の計画と実際の進度を調整する(1～3h)
第9週	プレゼンテーション資料の作成(3)(前時の継続；その2) [準備・課題]計画と進度の調整と中間のまとめの準備をする(1～3h)
第10週	プレゼンテーション資料の作成(4)(中間のまとめ、前時の継続；その3) [準備・課題]中間のまとめの結果を振りかえる(1～3h)
第11週	プレゼンテーション資料の作成(5)(前時の継続；その4) [準備・課題]発表の準備を行い、必要に応じて進度に合わせて資料作成にあたる(1～3h)
第12週	プレゼンテーション資料の作成(6)(文書ソフト等とMS Power Pointを用いた資料の完成) [準備・課題]発表の準備を練習もあわせて確実に行う(2～5h)
第13週	課題の発表(1)(資料を用いた発表と相互評価；その1) [準備・課題]発表の準備をする／発表した資料の手直しをする(1～3h)
第14週	課題の発表(2)(前時の継続；その2) [準備・課題]発表した資料の手直しをする(1～3h)
第15週	まとめ(学修した知識・技能についてのまとめ) [準備・課題]制作物の提出と学んだ内容を総合的に復習する(1～3h)

時間外での学習	[準備・課題]として示した内容を、( )の標準学修時間をめどとして確実に取り組みましょう。 質問等があれば、研究室(A305：A号館3F)へどうぞ。
受講学生へのメッセージ	前期授業の「情報科学」における基本的な操作を復習するとともに、制作にあたっては保育に関する自分なりの課題をもってのぞんでください。制作物の提出期限は厳守すること。 オフィスアワーはA305で毎週木曜日の16：20から17：30です。

情報活用（デ音歯看）	教養科目		1年後期	
	1単位		演習	30時間

［教員］: 大橋　みどり・梶山　記久子

［関連する資格・履修制限等］:

授業内容	注：前期『情報科学』履修者のみ 前期『情報科学』で学修した基礎から一歩進め、実用的なパソコンの活用方法を学びます。 Excel：演習を中心に行なうことによって応用力を身に付け活用できる能力を養成します。 PowerPoint：情報化が進む社会ではプレゼンテーション能力が重視されています。ＩＴ時代に即した効果的なプレゼンテーション資料の作成方法と発表の仕方について学びます。
授業方法	講義、演習問題、プレゼンテーション資料の作成、発表体験　等
到達目標	1.［知識・理解］　ＩＴ用語を理解し、基本的なコンピュータのスキルを身に付けることができる。（◎） 2.［思考・判断・表現］　ＳＮＳ等、インターネットを活用する上で社会人としてマナーを守ることができる。（○） 3.［技能］　アプリケーションソフトの特徴を理解し、応用活用できる技術を取得することができる。（◎） 4.［関心・意欲・態度］　ビジネスソフトの活用やネットコミュニケーション等、関心を持ち自主的に理解しようと努力する。（○）

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
Excel課題提出	20	－	－	－	20
プレゼン用の資料作成	10	－	20	－	30
プレゼンの発表	－	20	10	－	30
受講態度	－	－	－	20	20
合　計	30	20	30	20	100

成績評価と割合	Excelは課題提出 20%、PowerPointはプレゼンテーション資料の作成と発表 60%、受講態度 20% の合計100%で評価します。
テキスト	『30時間でマスターWord&Excel2007』実教出版(前期[情報科学]で使用したものを引き続き使用します) 『ドリルでマスター！ PowerPoint2007&プレゼンテーション』noa出版(売店で購入してください)
参考書・教材	データ保存用に前期で使用したＵＳＢメモリーを用意してください。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	Excel　前期基本操作の復習（関数、グラフ作成、データベース機能） [準備・課題]基本操作の練習問題(3h)
2	Excel　端数処理をする数学・三角関数（ROUND・ROUNDUP・ROUNDDOWN） [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(3h)
3	Excel　データを判定する論理関数（IF）の基本 [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(3h)
4	Excel　データを判定する論理関数（IF）の応用 [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(3h)
5	Excel　縦方向に表データを検索する検索・行列関数（VLOOKUP）の基本 [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(3h)
6	Excel　縦方向に表データを検索する検索・行列関数（VLOOKUP）の応用 [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(3h)
7	Excel　条件を付けて集計する数学・三角関数（COUNTIF）（SUMIF） [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(3h)
8	Excel　演習問題にて総復習 [準備・課題]中級関数に関して練習問題にて総復習する(3h)
9	PowerPoint　プレゼンテーションの基本（起動・作成・編集）STEP 2・4・5 [準備・課題]基本操作を簡潔にまとめる(3h)
10	PowerPoint　特殊な文字・イラスト・表・グラフ・図形の挿入　STEP 6・7・8 [準備・課題]テキストの練習7・8・9で復習し理解を深める(3h)
11	PowerPoint 演習 Drill 1～4 [準備・課題]Drill 5～7で復習し理解を深める(3h)
12	PowerPoint　画面の切り替え・アニメーション効果　STEP 9 [準備・課題]練習10・11で復習し理解を深める(3h)
13	PowerPoint　資料作成の注意点及び発表の準備　STEP 1・3・10 [準備・課題]テーマを考えスライドデザインを作成する・資料収集(3h)
14	PowerPoint　プレゼンテーション資料の作成1（テーマは自由とする） [準備・課題]資料の作成(6h)
15	PowerPoint　プレゼンテーション資料の作成2　完成させる [準備・課題]全体の調整と発表技法を考える(6h)

時間外での学習	授業時間内にできなかった演習問題等は必ず仕上げておくようにしてください。自宅にパソコンがない学生は学内でもできます。 空き時間を見つけて積極的にパソコンを使用し、技能を身に付けてほしいと思います。
受講学生へのメッセージ	コンピュータウィルスや不正アクセスからの防御や情報紛失を防ぐための意識を持ち、パソコンを利用するときのマナーやルールを守って自分の身を守るようこころがけてください。 オフィスアワーは授業後のパソコン教室で行います。

教養・キャリア基礎演習Ⅰ(幼児教育学科)	教養科目		1年前期	
	1単位		演習	30時間

[教員]：中野　由香里・名和　孝浩・今村　民子・内藤　敦子・水谷　聡美・光井　恵子

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容	短期大学での学びや社会人になるために必要な基礎的な知識、技能やコミュニケーション能力について多面的に学びます。また、将来保育者として必要とされる社会性や協調性についても学ぶとともに、社会的・職業的自立に向けて、自己認識と将来設計について考えます。
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど掲示板で事前によく確認し受講してください。
到達目標	1.[知識・理解]　専門分野の学びや職業・就労についての基本的知識と理解を高める。(○) 2.[思考・判断・表現]　専門分野の学びや社会的・職業的自立に向けた進路選択のための課題解決などに必要な思考・判断・表現力を養う。(○) 3.[技能]　専門分野の学びや社会人として必要なコミュニケーションやマナーについて学び、日常的生活に生かす。(○) 4.[関心・意欲・態度]　さまざまな課題に対して積極的に取り組む。(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
学修記録ノート	15	15	15	15	60
学修意欲・受講態度	5	5	5	5	20
レポート	5	5	5	5	20
合　計	25	25	25	25	100

成績評価と割合	学修記録ノート(受講内容要約と考察) 60%、学修意欲・受講態度 20%、レポート 20% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。
テキスト	『日本語検定 公式練習問題集』東京書籍(売店で購入してください) ※ガイダンス後、受験する級を決定してから購入すること。
参考書・教材	必要に応じて配布します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	基礎教養テスト：自分の基礎的な力を確認しよう [課題]テスト内容をしっかり振り返り、不十分だったところを復習する(2h)
2	初年次教育スタートプログラム(1)：短期大学について理解しよう(総合教育センター) [課題](1)学修内容を復習する　(2)課題の作文を書く(1～2h)
3	初年次教育スタートプログラム(2)：学びの方法を理解しよう(総合教育センター) [課題](1)学修内容を復習する　(2)授業内容を活用して作文を完成する(1～2h)
4	基礎教養を確かめよう(1)：基礎教養テストの振り返り (2)日本語検定を受けてみよう [課題]日本語検定の復習(1～2h)
5	基礎教養を確かめよう(2)：日本語検定の模擬試験を通して、自分の持てる力を確かめよう [課題]日本語検定の復習(1～2h)
6	社会人としてのマナーⅠ：社会人として必要なマナー(服装等)について学ぶ(外部講師) [準備・課題]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(2h)
7	基礎教養を高めよう(1)：日本語検定受験に向けて、自分の持てる力を高めよう [課題]日本語検定の復習(1～2h)
8	基礎教養を高めよう(2)：日本語検定を受験しよう。 (6/9に補講として実施) [準備]日本語検定の予習(1～2h)
9	講話：「女性の生き方」について(中野副理事長) [課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1～2h)
10	俳人松尾芭蕉：「奥の細道」の結びの地として、また水の都とも呼ばれる大垣の郷土や歴史を調べ、学外研修(郷土巡り)を通して、豊かな自然や歴史に触れる [課題]資料をまとめ、感想等をまとめる(2～3h)
11	保育に生かす知識と技能(1)：保育場面でも使える集団遊びの体験を通して、保育者になる心構えを持つ [課題]授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む(1h)
12	保育に生かす知識と技能(2)：エプロンシアターの演じ方や楽しさを知り、表現力を培う(外部講師) [課題]授業を振り返り感想等をまとめる(1～2h)
13	保育に生かす知識と技能(3)： 保育ボランティアや保育実習などで使える名札作りを通して、保育者になる心構えを持つ [課題]授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む(2～3h)
14	講話：女性の健康と命の大切さについて知る(外部講師) [課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1～2h)
15	前期のまとめ：(1)日本語検定の振り返り (2)前期の学修の振り返り (3)自己の課題を確認し、今後に向けての取り組みについて考える [課題]授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む(1～2h)

時間外での学習	毎時、学修記録ノートに学んだ内容を要約し、感想や内容に関しての考察を記入する。また、各回のテーマについて関心をもち、関連内容や講義時に提示されたキーワードについて調べ、理解を深める。分からない点は図書館等で調べ解決してください。
受講学生へのメッセージ	授業内容は、短期大学生として、また、社会人として基本的に必要な知識や技能であることを認識し学修にのぞんでください。広範囲な講義、演習、体験です。毎回欠席することなく受講してください。オフィスアワーは、チューターの研究室(H号館2F)へ来て相談してください。

教養・キャリア基礎演習Ⅰ（デザイン美術学科）	教養科目		1年前期	
	1単位		演習	30時間

［教員］: 田中　久志・黒田　皇・伊豫　治好・植田　努

［関連する資格・履修制限等］:

授業内容	短期大学での学び方を理解し、基礎的な学修技術を習得します。合わせて社会人となるために必要な基本的な教養や行動様式を学びます。さらに、美術表現を一層豊かに奥深くするための素養として、広範な世界を学びます。
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど事前によく確認し受講すること。
到達目標	1.［知識・理解］　自己の適性や能力と、専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる。（◎） 2.［思考・判断・表現］　専門分野に基づく自己の将来構想について、おおよそその見通しが持てる。（○） 3.［技能］　短期大学で必要となる基礎的な学びの技能が身についている。（○） 4.［関心・意欲・態度］　自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組んでいる。（○）

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
学修記録ノート	40	−	−	10	50
レポート	−	20	−	−	20
グループワーク	−	−	20	−	20
受講態度	−	−	−	10	10
合　計	40	20	20	20	100

成績評価と割合	学修記録ノート(受講内容要約と考察) 50%、レポート 20%、グループワーク 20%、受講態度 10% の合計100%で評価します。
テキスト	『日本語検定 公式練習問題集』東京書籍(売店で購入してください) ※ガイダンス後、受験する級を決定してから購入すること。
参考書・教材	必要な資料は授業で配布します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	基礎教養テスト　自分の基礎的な教養の力を確認しよう [課題]テスト内容をしっかり振り返り、不十分だったところを復習する(1h)
2	初年次教育Start Program①　短期大学の学びについて理解しよう（総合教育センター） [課題](1)学んだ内容を復習する　(2)課題の作文を書く(1h)
3	初年次教育Start Program②　学びの方法について理解しよう（総合教育センター） [課題](1)学んだ内容を復習する　(2)授業内容を活用して作文を完成する(1h)
4	日本語学習①　概要説明　模擬テスト [課題]テスト内容をしっかり振り返り、不十分だったところを復習する(1h)
5	日本語学習②　敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字(確認) [課題]学んだ内容を復習する(1h)
6	日本語学習③　敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字(定着) [課題]学んだ内容を復習する(1h)
7	日本語学習④　敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字(復習) [課題]学んだ内容を復習する(1h)
8	日本語検定受験（6/9に補講として実施） [課題]テスト内容をしっかり振り返り、不十分だったところを復習する(1h)
9	講話：「女性の生き方」について学ぶ（中野副理事長） [課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1h)
10	共同作業体験Ⅰ　みずき祭について、各クラスに分かれて内容を検討することによりクラス内のコミュニケーションを深める [課題]目的を確認し、取り組んだことを復習し、出された課題に取り組む(1h)
11	自己分析～自分を知る～　キャリアトランプ演習（外部講師） [課題]目的を確認し、取り組んだことを復習し、出された課題に取り組む(1h)
12	自己分析～自分を伝える～　キャリアトランプ演習（外部講師） [課題]目的を確認し、取り組んだことを復習し、出された課題に取り組む(1h)
13	専門的職業講話Ⅰ　社会で活躍している方の話を聞く（外部講師） [課題](1)学んだ内容を復習する　(2)レポートを書く(1h)
14	講話：女性の健康と命の大切さについて学ぶ（外部講師） [課題]内容を振り返り、自分の考えなどをまとめる(1h)
15	未来の姿を描くⅠ　専門科目の理解と将来構想 [課題]自己の将来構想についてしっかりと考え、コース目標やねらい、専門科目の内容について理解し、コース選択について考える(1h)

時間外での学習	各回のテーマについて関心をもち、授業後は配布プリント等を復習し理解を深めてください。わからない点、疑問点は図書館等で調べ解決をしてください。自分で調べても問題解決できない場合は、各担当教員に質問してください。
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぼうとする意識をもって受講してください。事前に配布する「学修記録ノート」を毎回持参し、受講後、講義内容と感想を記録してください。 オフィスアワーは毎週火曜日の16：20から17：30です。

教養・キャリア基礎演習Ⅰ(音楽総合学科)	教養科目		1年前期	
	1単位		演習	30時間

[教員]: 服部　篤典・鈴木　孝育・横井　香織

[関連する資格・履修制限等]:

授業内容	短期大学での学び方、社会人になるための基礎的なコミュニケーションや社会生活の基本となる知識や技能および行動様式を身につけます。全学科共通の授業や少ない人数のゼミ形式など、様々なかたちでの振る舞い方、対人関係を深めるコミュニケーションについても授業で学びます。
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど事前によく確認し受講すること。
到達目標	1.[知識・理解]　自己の適性や能力と専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる。(○) 2.[思考・判断・表現]　専門分野にもとづく自己の将来構想について、おおよその見通しが持てる。(◎) 3.[技能]　短期大学で必要となる基本的な学びの技能が身についている。(○) 4.[関心・意欲・態度]　自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組める。(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
学修記録ノート	25	30	−	−	55
受講態度	−	−	20	25	45
合　計	25	30	20	25	100

成績評価と割合	学修記録ノート(受講内容要約と考察 55%、受講態度 45% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、授業回数の1/3以上欠席した学生は受験資格がありません。 レポートなど、授業で出した課題の提出がない学生には単位を与えません。
テキスト	『日本語検定 公式練習問題集』東京書籍(売店で購入してください) ※ガイダンス後、受験する級を決定してから購入すること。
参考書・教材	授業内で指示します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	基礎教養テスト　自分の基礎的な教養の力を確認しよう [課題]テスト内容をしっかり振り返り、不十分だったところを復習する(1〜2h)
2	初年次教育スタートプログラム(1)短期大学について(総合教育センター) 高等教育の意味、本学での学び他短期大学の学びについて理解しよう [課題](1)学んだ内容を復習する (2)課題の作文を書く(1〜2h)
3	初年次教育スタートプログラム(2)学び方の基本(総合教育センター) 学修の方法、ノートの取り方、レポート作成、文献の調べ方他学びの方法について理解しよう [課題](1)学んだ内容を復習する (2)授業内容を活用して作文を完成する(1〜2h)
4	「日本語検定」準備学習① [課題]学んだ内容を復習する(1〜2h)
5	「日本語検定」準備学習② [課題]学んだ内容を復習する(1〜2h)
6	「日本語検定」準備学習③ [課題]学んだ内容を復習する(1〜2h)
7	「日本語検定」準備学習④ [課題]学んだ内容を復習する(1〜2h)
8	日本語検定受験 (6月9日に補講として実施)
9	講話　「女性の生き方」(中野副理事長) [課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1〜2h)
10	専門的職業講話Ⅰ　(専門職に従事している卒業生　ピアノ、電子オルガン、音楽療法編) [課題](1)学んだ内容を復習する (2)課題の作文を書く(1〜2h)
11	クラス面談1　コース別に分かれてチューターと面談し、学校生活や進路に向けた話し合いを行う [課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1〜2h)
12	クラス面談2　コース別に分かれてチューターと面談し、学校生活や進路に向けた話し合いを行う [課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1〜2h)
13	共同作業体験 [課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1〜2h)
14	講話　「女性の健康と命の大切さ」女性の健康と命の大切さについて学ぶ(外部講師) [課題]内容を振り返り、自分なりに考えたことなどをまとめる(1〜2h)
15	前期のまとめと後期の準備 [課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1〜2h)

時間外での学習	毎時、学修記録ノートに学んだ内容を要約し受講しての感想や内容に関しての自らの考察を記入する。 また、関連内容や講義時に提示されたキーワードについて調べ、理解を深める。
受講学生へのメッセージ	授業の学修内容は、短期大学生として、また社会人として基本的に必要な知識や技能であることを認識し、臨んでください。広範囲な講義、演習、体験です。毎回欠席することなく受講してください。 オフィスアワーは各チューターの指示に従ってください。

教養・キャリア基礎演習Ⅰ(歯科衛生学科)	教養科目		1年前期	
	1単位		演習	30時間

[教員]：石川　隆義・久本　たき子・阿尾　敦子・水嶋　広美・村田　宜彦・飯岡　美幸・縄田　理佳・三角　洋美・今井　藍子

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容	本学の建学の精神と教育方針に沿った学修成果の達成に向けて、受講生が主体的に学び、幅広い視野を持ち知的基盤等を教養として身につけるようにします。その基礎となる短期大学での学び方や人間の理解を中心に、学問的知識・技能や思考方法、社会人となるための知識・行動様式などを学んでいくための基本的内容を総合的に理解することを目的とします。
授業方法	学生相互及び教員とのコミュニケーションを図りながら体験的に学修します。全学単位、学科単位など授業形態が異なります。講義形式、あるいは演習等のグループワーク、発表があります。
到達目標	1.[知識・理解]　自己の適性や能力と、専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる。(△) 2.[思考・判断・表現]　専門分野にもとづく自己の将来構想について、おおよその見通しが持てる。(△) 3.[技能]　短期大学で必要となる基本的な学びの技能が身に付いている。(○) 4.[関心・意欲・態度]　自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組める。(◎)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
学修記録ノート	−	−	25	−	25
レポート	−	5	−	−	5
発表	10	−	−	−	10
受講態度	−	−	−	60	60
合　計	10	5	25	60	100

成績評価と割合	学修記録ノートの記載・提出 25%、レポート(第9回:女性の生き方) 5%、発表 10%(欠席した場合、レポート作成を課す)、受講態度(出席・課題提出状況) 60% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、授業実施時間の1/3以上欠席した学生には単位を与えません。
テキスト	『日本語検定 公式練習問題集』東京書籍(売店で購入してください) ※ガイダンス後、受験する級を決定してから購入すること。
参考書・教材	必要な資料は、配布します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	基礎教養テスト [準備・課題]テスト内容を振り返り、不十分だったところを復習する(1h)
2	初年次教育START PROGRAM(1)：短期大学について知ろう 高等教育の意味、短期大学の目的、本学での学びについて説明する(総合教育センター) [準備・課題](1)学んだ内容を復習する(2)課題の作文を書く(1h)
3	初年次教育START PROGRAM(2)：学び方の基本を知ろう 学修の方法、ノートの取り方、文献の調べ方、基礎教養ゼミの説明する(総合教育センター) [準備・課題](1)学んだ内容を復習する(2)授業内容を活用して作文を完成する(1h)
4	日本語検定準備学習(1)：在学中に文章力や漢字能力などの日本語力を向上させ、日本語検定合格を目指す [準備・課題]学んだ内容を復習する(1h)
5	日本語検定準備学習(2)：在学中に文章力や漢字能力などの日本語力を向上させ、日本語検定合格を目指す [準備・課題]学んだ内容を復習する(1h)
6	学生発表(1)：入学前課題(新聞記事・指定図書)をもとに、自分の考えをまとめ決められた時間内で発表する。発表者としての身だしなみやマナーにも配慮する [準備・課題]発表で不十分だったところを反省し、記述する(1h)
7	日本語検定準備学習(3)：在学中に文章力や漢字能力などの日本語力を向上させ、日本語検定合格を目指す [準備・課題]学んだ内容を復習する(1h)
8	日本語検定：在学中に文章力や漢字能力などの日本語力を向上させ、日本語検定合格を目指す ＊6/9に補講として実施 [準備・課題]学んだ内容を復習する(1h)
9	「女性の生き方」について学ぶ(講師：中野副理事長) [準備・課題]内容を振り返り、出されたレポート課題に取り組んで完成させる(1h)
10	環境を考えるエコツアー：エコツアーを通してクラス内でのコミュニケーションを深め、本学で実施されているエコ活動を知る。また、エコロジーについて考える [準備・課題]エコロジーについて調べ、記述する(1h)
11	日本の伝統文化に触れる(1)：浴衣の着付け(1)：浴衣の着付けを通して日本文化について学ぶ(外部講師)
12	日本の伝統文化に触れる(2)：浴衣の着付け(2)：浴衣の着付けを通して日本文化について学ぶ(外部講師) [準備・課題]日本の文化と着物について調べ、記述する(2h)
13	社会人としてのマナー・服装編：社会人としてのスーツの着こなし方を学ぶ。(外部講師) [準備・課題]学んだ内容を復習し、いつでも身だしなみが整えられるようにする。(1h)
14	女性の健康、命の大切さについて学ぶ(外部講師) [準備・課題]授業内容を振り返り、考えたことをまとめる(1h)
15	学生発表(2)：「自分の考える教養とは」をテーマに、受講して学んだことや教養に対する自分の考えをまとめ、決められた時間内で発表する。発表者としての身だしなみやマナーにも配慮する。 [準備・課題]到達目標に対する自己評価を行い、自分の考えを記述する(1h)

時間外での学習	毎回、受講後に「学修記録ノート」へ受講内容や学んだことを明確に記録してください。
受講学生へのメッセージ	本科目は、多種多様な講義と演習の科目です。毎時間出席することにより、受講記録を行うことが大切です。担当教員より「学修記録ノート」提出の指示があった場合は、指示通りに提出してください。最終日に「学修記録ノート」を全員提出してもらい、評価をします。 オフィスアワーは、各担当教員の時間になります。

教養・キャリア基礎演習Ⅰ（看護学科）	教養科目		1年前期	
	1単位		演習	30時間

［教員］：古田　桂子・佐々　敏・棚橋　千弥子・服部　直子・馬場　貞子・松原　薫・安藤　洋子・大澤　伸治・鍬原　直美・酒井　和美・清水　美恵・吉川　美保・北村　美恵子・楽原　美和・戸村　佳美・水上　和典

［関連する資格・履修制限等］：

授業内容	短期大学における学修で必要となる基礎的な知識・技能や思考方法、また社会人に求められる教養や行動様式を、講義・演習を通して学びます。豊かな人間性を育みながら、看護を学ぶ者、将来医療に従事する者に必要な学修スキルおよび自己管理について学びます。
授業方法	多種多様な講義と演習の科目で、全学共通のもの、学科ごとのもの、チューターグループごとのものなど授業形態が毎回異なります。事前に場所、準備するものなど、掲示をよく確認してください。
到達目標	1.［知識・理解］　社会人として求められる教養と看護を学ぶ基盤となる知識について理解できる。（◎） 2.［思考・判断・表現］　大学で学ぶ意味と人の生き方や社会に関する自己の意見を深め、表現することができる。（◎） 3.［関心・意欲・態度］　教養について学ぶことを、意欲と関心をもって主体的に取り組める。（◎）

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
自己評価（学修記録ノート）	－	－	－	30	30
日本語検定（検定結果）	30	－	－	－	30
課題レポート	10	30	－	－	40
合　計	40	30	－	30	100

成績評価と割合	学修記録ノート 30%、日本語検定 30%、課題レポート 40% の合計100%で評価します。 課題レポートは、A「日本語を学び直す意味」、B「大学で学ぶということとは」のどちらかのテーマを選んで800字で作成してください。具体的な評価基準は初回に提示します。
テキスト	『日本語検定 公式練習問題集』東京書籍(売店で購入してください) ※ガイダンス後、受験する級を決定してから購入すること。
参考書・教材	授業時に提示

内容	
実施回	授業内容・目標
1	基礎教養テスト ［課題］テストの内容を振り返り、不十分だったところを復習する。(2h)
2	初年次教育スタートプログラム①（総合教育センター）
3	初年次教育スタートプログラム②（総合教育センター）
4	日本語検定準備学習①（講義） ［課題］授業の内容を復習する。(1h)
5	日本語検定準備学習②（講義） ［課題］授業の内容を復習する。(1h)
6	日本語検定準備学習③（講義） ［課題］授業の内容を復習する。(1h)
7	日本語検定準備学習④（模擬試験） ［課題］試験の内容を振り返り、不十分だったところを復習する。(2h)
8	日本語検定受験（6/9に補講として実施） ［準備］今までの学びをまとめ、検定に対応できるように再学習する。(2～4h)
9	講話「女性の生き方について」（中野副理事長） ［課題］聴講した内容を振り返り、自分のライフプランについて考え、課題をまとめる。(1～2h)
10	個別面接①（チューター教員）
11	個別面接②（チューター教員）
12	「大学で学ぶということ」（総合教育センター長） ［課題］自分の学修の仕方を振り返り、課題を明らかにする。(1h)
13	国家試験に向かってのガイダンス（外部講師）
14	講話「女性の健康と命の大切さ」（外部講師） ［課題］講演を聞いて女性としての自身の生活や考えを見直す。(1h)
15	消費生活講座（外部講師） ［課題］身の回りの消費生活行動の問題と改善について考える。(1h)

時間外での学習	毎回学修記録ノートに学んだ内容および感想・考えたことを記録して、チューター教員に提出してください。
受講学生へのメッセージ	看護学生であり、社会人としての第一歩でもあります。学生同士の交流を深めながら、積極的に参加し学びを深めていってください。 オフィスアワーは、各チューター教員の時間になります。

教養・キャリア基礎演習Ⅱ(幼児教育学科)	教養科目		1年後期	
	1単位		演習	30時間

[教員]：中野　由香里・名和　孝浩・今村　民子・内藤　敦子・水谷　聡美・光井　恵子

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容	社会人として自立していくための基本的な知識や技能、一般常識を学び、社会人に求められる望ましい就業観・勤労観を身につけていきます。また、社会性と協調性の基本となる行動様式を身につけ、考える力とコミュニケーション能力を養います。
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど掲示板で事前によく確認し受講してください。
到達目標	1.[知識・理解]　専門分野の学びや職業・就労についての基本的知識と理解を深める。(○) 2.[思考・判断・表現]　専門分野の学びや社会的・職業的自立に向けた進路選択のための課題解決などに必要な思考・判断・表現力を養う。(○) 3.[技能]　専門分野の学びや社会人として必要なコミュニケーションやマナーについて学び、日常的生活に生かす。(○) 4.[関心・意欲・態度]　さまざまな課題に対して積極的に取り組む。(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
学修記録ノート	15	15	15	15	60
学習意欲・受講態度	5	5	5	5	20
レポート	5	5	5	5	20
合　計	25	25	25	25	100

成績評価と割合	学修記録ノート(受講内容要約と考察) 60%、学習意欲・受講態度 20%、レポート 20% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。
テキスト	ありません。
参考書・教材	必要な資料は授業で配布します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	ガイダンス：教養・キャリア基礎演習Ⅱについての説明と、今後の内容や活動について知る。 [準備・課題]学習した内容を復習し、感想と質問等をまとめる(1h)
2	自立するためのライフプラン：将来設計と職業観・勤労観について考える。(外部講師) [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(2h)
3	社会人に必要なコミュニケーション： 社会人として必要なコミュニケーション力について考える機会とする。(外部講師) [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(2h)
4	共同作業体験学習Ⅰ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(2～3h)
5	共同作業体験学習Ⅱ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(2～3h)
6	社会人としてのマナーⅡ： 社会人として必要なマナー(挨拶、言葉遣い、話し方、電話の応対等)について学ぶ。(外部講師) [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(2h)
7	ニュース・新聞の読み方：政治・経済・話題のニュースなどから、新聞の読み方、情報の収集の仕方や留意点について学ぶ。(キャリアサポーター) [準備・課題]学習した内容を復習し、感想と質問等をまとめる(2h)
8	卒業生による体験講話：社会で活躍している先輩の話を聞き、職業人に対する憧れをもつ。(外部講師) [準備・課題]学習した内容を復習し、感想と質問等をまとめる(2h)
9	公務員対策講座：公務員試験についての傾向と具体的な対策などについて学ぶ。(総合教育センター) [準備・課題]学習した内容を復習し、感想と質問等をまとめる(1～2h)
10	保育実習に向けて： 保育実習に向けて保育者として必要なマナーや心構えなどを学ぶ。(学科キャリアサポーター) [準備・課題]学習した内容を復習し、感想と質問等をまとめる(2h)
11	個別面談： 今までの学生生活や学修の様子を振り返り、自分の課題と今後の進路について考える機会とする。 [準備・課題]自己の課題や進路希望についてまとめる(2h)
12	共同作業体験学習Ⅲ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める。 [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(2～3h)
13	共同作業体験学習Ⅳ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める。 [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(2～3h)
14	共同作業体験学習Ⅴ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める。 [準備・課題]学習した内容を復習し、感想等をまとめる(2～3h)
15	まとめ：後期の学修を振り返り、総括すると共に今後に向けての課題を明らかにする。 [準備・課題]記録用紙にまとめる。(1h)

時間外での学習	毎時、学修記録ノートに学んだ内容を要約し、感想や内容に関しての考察を記入する。また、各回のテーマについて関心をもち、関連内容や講義時に提示されたキーワードについて調べ、理解を深める。分からない点は図書館等で調べ解決してください。
受講学生へのメッセージ	授業の学習内容は、短期大学生として、また、社会人として基本的に必要な知識や技能であることを認識し学習にのぞんでください。広範囲な講義、演習、体験です。毎回欠席することなく受講してください。 オフィスアワーは、チューターの研究室(H号館2F)へ来て相談してください。

教養・キャリア基礎演習Ⅱ（デザイン美術学科）	教養科目		1年後期	
	1単位		演習	30時間
［教員］: 田中　久志・黒田　皇・伊豫　治好・植田　努				
［関連する資格・履修制限等］:				

授業内容	前期で身に付けた基礎学修を応用していくとともに、一般常識を学び、社会人に求められる望ましい就業観・勤労観を身に付けていきます。また、社会性と協調性の基本となる行動様式を身に付け、考える力とコミュニケーション能力を養います。
授業方法	多種多様な講義と演習の科目ですので、全学単位、学科単位、クラス単位など授業形態が毎時異なります。事前に授業会場、準備するものなど、掲示等でよく確認しておいてください。
到達目標	1.［知識・理解］　専門分野の学びとともに社会人に求められる知識についても理解できる。　(◎) 2.［思考・判断・表現］　社会人になるために必要な基礎的な思考・判断表現の力がついている。　(○) 3.［技能］　自己の将来を実現していくために必要な基本的技能が身についている。　(○) 4.［関心・意欲・態度］　自己の将来構想実現に向けて、課題意識を持って意欲的に授業に取り組める。　(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
学修記録ノート	40	−	−	10	50
レポート	−	20	−	−	20
グループワーク	−	−	20	−	20
受講態度	−	−	−	10	10
合　計	40	20	20	20	100

成績評価と割合	学修記録ノート(受講内容要約と考察) 50%、レポート 20%、グループワーク 20%、受講態度 10% の合計 100% で評価します。
テキスト	なし
参考書・教材	必要な資料は授業で配布します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	就職活動準備講座Ⅰ　将来構想を描く ［課題］就職に必要となる要素を理解し、まとめる(1h)
2	就職活動準備講座Ⅱ　ポートフォリオ制作 ［課題］制作した作品を目的に合わせて編集、構成する(1h)
3	専門的職業人の講話Ⅱ　社会で活躍している方の話を聞く（外部講師） ［課題］職業に対する理解を深め、まとめる(1h)
4	共同制作体験Ⅱ　グループで企画立案し、運営する体験学習 ［課題］企画立案、運営の方法などを理解し、まとめる(1h)
5	共同企画体験Ⅲ　様々な人とコミュニケーションをとりながら目的を達成するために協力する ［課題］コミュニケーションと、協力することの必要性を理解し、まとめる(1h)
6	個別面談Ⅰ～文章の書き方～ ［課題］目標設定の重要性を理解し、まとめる(1h)
7	個別面談Ⅱ～履歴書の作成～ ［課題］目標設定の重要性を理解し、まとめる(1h)
8	専門的職業演習Ⅰ　スマートフォンアプリ制作：オリジナルアプリをデザインする（外部講師） ［課題］制作手順を理解し、まとめる(1h)
9	専門的職業演習Ⅱ　スマートフォンアプリ制作：オリジナルアプリを作る（外部講師） ［課題］制作手順を理解し、まとめる(1h)
10	社会人としてのマナーⅠ　服装編　スーツを着る際の注意点、着こなしのポイントを学ぶ（外部講師） ［課題］社会人らしい服装について理解し、まとめる(1h)
11	社会人としてのマナーⅡ　メイク編　メイクをする際に心がけることと、実際の方法を学ぶ（外部講師） ［課題］社会人らしいメイクに必要な点について理解し、まとめる(1h)
12	共同作業体験Ⅳ ［課題］目標設定とリサーチの重要性を理解し、まとめる(1h)
13	企業研究　就職に必要なことを総括する ［課題］目標設定とリサーチの重要性を理解し、まとめる(1h)
14	教養・キャリア基礎演習Ⅰ・Ⅱ総括　反省と今後に向けて(1) ［課題］目標を設定する(1h)
15	教養・キャリア基礎演習Ⅰ・Ⅱ総括　反省と今後に向けて(2) ［課題］目標を設定し、まとめる(1h)

時間外での学習	各回のテーマについてしっかり関心をもち、授業後は配布プリント等を復習し理解を深めてください。分からない点、疑問点は図書館等で調べ解決をしてください。自分で調べても解決できない場合は、各担当教員に相談してください。
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぼうとする意識をもって受講してください。事前に配布する「学修記録ノート」を毎回持参し、受講後、講義内容と感想を記録してください。 オフィスアワーは毎週火曜日の16：20から17：30です。

教養・キャリア基礎演習Ⅱ(音楽総合学科)	教養科目		1年後期	
	1単位		演習	30時間
[教員]: 服部　篤典・鈴木　孝育・横井　香織				
[関連する資格・履修制限等]:				

授業内容	短期大学での学び方、社会人になるための基礎的なコミュニケーションや社会生活の基本となる知識や技能および行動様式を身につけます。全学科共通の授業や少ない人数のゼミ形式など、様々なかたちでの振る舞い方、対人関係を深めるコミュニケーションについても授業で学びます。
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど事前によく確認し受講すること。
到達目標	1.[知識・理解]　自己の適性や能力と専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる。(○) 2.[思考・判断・表現]　専門分野にもとづく自己の将来構想について、おおよその見通しが持てる。(◎) 3.[技能]　短期大学で必要となる基本的な学びの技能が身についている。(○) 4.[関心・意欲・態度]　自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組める。(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
学修記録ノート	25	30	－	－	55
受講態度	－	－	20	25	45
合　計	25	30	20	25	100

成績評価と割合	学修記録ノート 55%、受講態度 45% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、授業回数1/3以上欠席した学生には単位を与えません。
テキスト	
参考書・教材	資料等は配布します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	教養・キャリア基礎演習Ⅱガイダンス [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1～2h)
2	自己分析Ⅰ(担当：外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1～2h)
3	自己分析Ⅱ(担当：外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1～2h)
4	共同作業体験Ⅱ [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1～2h)
5	共同作業体験Ⅲ [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1～2h)
6	自己分析Ⅲ(担当：外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1～2h)
7	社会人としてのマナーⅠ(服装編)(担当：外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1～2h)
8	就職活動準備講座Ⅰ(履歴書作成)(担当：就職支援課) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1～2h)
9	専門的職業人の講話(担当：本学卒業生 ウインドアンサンブルコース、リペアコース卒) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1～2h)
10	社会人としてのマナーⅡ(メイク編)(担当：外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1～2h)
11	社会人としてのマナーⅡ(挨拶編)(担当：外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1～2h)
12	就職活動準備講座Ⅱ(集団面接と個人面接)(担当：外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1～2h)
13	就職活動準備講座Ⅲ(面接演習)(担当：外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1～2h)
14	社会人女性との交流会(就職活動準備懇談会)(担当：外部講師) [準備・課題]学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1～2h)
15	教養・キャリア基礎演習Ⅱ総括(反省と今後に向けて)

時間外での学習	各回のテーマについてしっかり関心を持ち、授業後は配布プリント等を復習し理解を深めてください。分からない点、疑問点は図書館等で調べ解決してください。自分で調べても問題解決出来ない場合は、各担当教員に質問してください。
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぼうとする意識を持って受講してください。事前に配布する「教養・キャリア基礎演習Ⅱ学修記録ノート」を毎回持参し、受講後、講義内容と学び、自己評価を記入してください。 オフィスアワーは各チューターの指示に従ってください。

教養・キャリア基礎演習Ⅱ(歯科衛生学科)	教養科目		1年後期	
	1単位		演習	30時間

[教員]：石川　隆義・久本　たき子・阿尾　敦子・水嶋　広美・村田　宜彦・飯岡　美幸・縄田　理佳・三角　洋美・今井　藍子

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容	社会人として自立していくための基本的な知識や技能、一般常識を学び、社会人に求められる望ましい就業観・勤労観を身につけていきます。また、社会性と協調性の基本となる行動様式を身につけ、考える力とコミュニケーション能力を養います。
授業方法	多種多様な講義と演習の科目ですので、全学単位、学科単位、クラス単位など、授業形態が毎時異なります。事前に授業会場、準備するものなど、掲示等でよく確認しておいてください。
到達目標	1.[知識・理解]　専門分野の学びとともに社会人に求められる知識についても理解できる。　(△) 2.[思考・判断・表現]　社会人になるために必要な基礎的な思考・判断・表現の力がついている。　(△) 3.[技能]　自己の将来構想を実現していくために必要な基本的技能が身に付いている。(○) 4.[関心・意欲・態度]　自己の将来構想に向けて、課題意識を持って意欲的に授業に取り組める。　(◎)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
受講態度	−	−	−	60	60
学修記録ノートの記述	−	−	25	−	25
発表	10	−	−	−	10
レポート作成	−	5	−	−	5
合　計	10	5	25	60	100

成績評価と割合	受講態度60%、学修記録ノートの記述(毎回)25%、発表10%、レポート作成5%の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、授業回数の1/3以上欠席した学生には単位を与えません。 第15回教養・キャリア基礎演習Ⅱのまとめを欠席した場合は、発表に準じた課題があります。
テキスト	なし
参考書・教材	必要な資料は授業で配布します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	ガイダンス：教養・キャリア基礎演習Ⅱについての説明と、今後の内容や活動について話し合う。 [準備・課題]学んだ内容を振り返る。(1h)
2	キャリアについて考える：3年生の卒業研究を聞いてキャリアについて自ら考える。 [準備・課題]学んだ内容を振り返り、自分の考えをまとめる。(1h)
3	消費生活講座：若者が巻き込まれやすい消費者被害とその予防法や対処法を知り、消費生活に関する基礎知識を修得する。(外部講師) [準備・課題]学んだ内容を復習し、考えたことを記述する。(1h)
4	共同作業体験Ⅰ：みずき祭について各クラスに分かれ、ディスカッションする。 [準備・課題]ディスカッションした内容をまとめ、課題に取り組む。(1h)
5	共同作業体験Ⅱ：みずき祭について各クラスに分かれ準備する。 [準備・課題]学んだ内容をまとめ、復習する。(1h)
6	社会人としてのマナーⅠ： 社会人として必要なマナー(挨拶、言葉遣い、話し方、電話の応対など)について学ぶ。(外部講師) [準備・課題]学んだ内容を調べ、記述する。(1h)
7	社会人としてのマナーⅡ： 社会人として必要なマナー(対人関係、冠婚葬祭など)について学ぶ。(外部講師) [準備・課題]学んだ内容を調べ、記述する。(1h)
8	歯科衛生士像を考える：2年生の学外(臨床・臨地)実習前に「決意を語る会」がある。ここに出席して将来の歯科衛生士像を考える。 [準備・課題]学んだ内容を復習し、感想と質問等をまとめる。(1h)
9	人権講座：人権尊重の考えを理解し、まわりの人への「心づかい」の大切さを知るとともに「心と言葉」について考える。(外部講師) [準備・課題]学んだ内容を復習し、考えたことを記述する。(1h)
10	自己分析と自己ＰＲ： 今までの自分を振り返り、自分自身を見つめ直し考える機会とする。(総合キャリアサポーター) [準備・課題]学んだ内容を復習し、考えたことを記述する。(1h)
11	歯科医療における地域貢献：歯科衛生士として歯科医療における地域貢献について学ぶ。 (大垣歯科医師会・歯科衛生士) [準備・課題]学んだ内容を復習し、考えたことを記述する。(1h)
12	マナー講座Ⅰ：会食の体験を通して、食事マナーや美しい所作、もてなしの心遣いを学ぶ。 [準備・課題]学んだ内容を調べ、復習する。(1h)
13	マナー講座Ⅱ：会食の体験を通して、食事マナーや美しい所作、もてなしの心遣いを学ぶ。 [準備・課題]学んだ内容を調べ、復習する。(1h)
14	女性の生き方について考える： 女子短大生としての3年間の過ごし方と卒業後の生き方について考える。(石川学科長) [準備・課題]短大在学期間と卒業後の女性としての生き方についてレポートにまとめる。(1h)
15	教養・キャリア基礎演習Ⅱまとめ：今後に向けて、14回の内容についての学びをまとめ、発表する。 [準備・課題]発表で不十分だったところを反省し、学修記録ノートに記述する。(1h)

時間外での学習	各回のテーマについて関心をもち、授業後は配布プリント等を復習し理解を深めてください。わからない点、疑問点は図書館等で調べ解決をしてください。自分で調べても問題解決できない場合は、各担当教員に質問してください。
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぼうとする意識をもって受講してください。事前に配布する「学修記録ノート」を毎回持参し、受講後講義内容と感想を記録してください。 オフィスアワー：スタッフルーム（G202：G号館2F）各担当教員の時間になります。

教養・キャリア基礎演習Ⅱ（看護学科）	教養科目		1年後期	
	1単位		演習	30時間

［教員］：古田　桂子・佐々　敏・棚橋　千弥子・服部　直子・馬場　貞子・松原　薫・安藤　洋子・大澤　伸治・鍬原　直美・酒井　和美・清水　美恵・吉川　美保・北村　美恵子・楽原　美和・戸村　佳美・水上　和典

［関連する資格・履修制限等］：

授業内容	短期大学における学修で必要となる基礎的な知識・技能や思考方法、また社会人に求められる教養や行動様式を、講義・演習を通して学びます。豊かな人間性を育みながら、看護を学ぶ者、将来医療に従事する者に必要な学修スキルおよび自己管理について学びます。
授業方法	多種多様な講義と演習の科目で、全学共通のもの、学科ごとのもの、チューターグループごとのものなど授業形態が毎回異なります。事前に場所、準備するものなど、掲示をよく確認してください。
到達目標	1.［知識・理解］　看護師という専門性とキャリアに関する基礎的知識について理解できる。　(◎) 2.［思考・判断・表現］　看護を目指す自己の将来構想について、おおよその見通しが持てる。　(○) 3.［技能］　社会人としてのコミュニケーション能力および専門職を目指すための基本的な学修姿勢が身につく。　(○) 4.［関心・意欲・態度］　教養について学ぶことを、意欲と関心をもって主体的に取り組める。　(◎)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
自己評価(学修記録ノート)	－	－	－	30	30
課題レポート	－	20	20	－	40
毎回の学び(学修記録ノート)	30	－	－	－	30
合　計	30	20	20	30	100

成績評価と割合	学修記録ノート 30%、課題レポート 40%、受講態度 30% の合計100%で評価します。 受講態度は、学修記録ノートの取り組み状況と自己評価で評価します。 課題レポートは、「正しい用語が用いられる(10点)」「レポートとしての体裁が整っている(10点)」「テーマについての自身の考えがまとまっている(20点)」計40点満点で評価します。
テキスト	授業時に提示
参考書・教材	授業時に提示

内容	
実施回	授業内容・目標
1	労働に関する知識（外部講師） ［課題］働くことのルールについて整理する。(1h)
2	社会人としてのマナーⅠ（外部講師） ［課題］授業内容を復習する。(0.5h)
3	社会人としてのマナーⅡ（外部講師） ［課題］授業内容を復習する。(0.5h)
4	協同作業体験Ⅰ
5	協同作業体験Ⅱ
6	協同作業体験Ⅲ
7	情報取り扱いに関するマナー（外部講師） ［課題］授業内容を復習する。(0.5h)
8	専門的職業講話Ⅰ：看護師の職場・ナースセンターの役割（外部講師） ［課題］看護職としての自己の将来像を考える(1h)
9	専門的職業講話Ⅱ：看護師1年目のキャリア（外部講師）
10	専門的職業講話Ⅲ：ジェネラリストのキャリア（外部講師）
11	専門的職業講話Ⅳ：スペシャリストのキャリア（外部講師） ［課題］Ⅰ～Ⅳの講話を振り返り、看護職としての自己の将来像を考える。(2h)
12	小論文・レポートの書き方 ［課題］授業内容を整理する。(1h)
13	看護師をめざして：自身の将来像と学修課題について意見交換する（各チューター教員） ［課題］「看護師をめざす自身の将来構想と実現のための自己課題」について、規定に沿って小論文としてまとめる。(2～3h) ＊小論文は課題レポートとして扱い、評価対象です。
14	看護師をめざして：レポートのまとめに対する考察と指導（各チューター教員） ［課題］指導をうけて、論文をまとめ上げる。（2～4h）
15	看護師になるために：初めての実習ガイド

時間外での学習	毎回学修記録ノートに学んだ内容および感想・考えたことを記録して、チューター教員に提出してください。
受講学生へのメッセージ	看護学生であり、社会人としての第一歩でもあります。学生同士の交流を深めながら、積極的に参加し学びを深めていってください。 オフィスアワーは、各チューター教員の時間になります。

社会活動演習（幼児教育学科）	教養科目		1～3年通年	
	1単位		演習	30時間

［教員］: 松村　齋

［関連する資格・履修制限等］:

授業内容	短大及び地域で行われる社会活動（こども祭、みずき祭、アクアウォークなど）や、本学の環境整備活動、保育関係の学会・研修会、シンポジウムなどに参加活動し、振り返りをおこなう。
授業方法	活動参加及び振り返りの実施
到達目標	1.［知識・理解］　社会の課題に気付き、適切に判断・行動することができる。（○） 2.［思考・判断・表現］　学びの集積を自覚し、統合し活用することができる。（○） 3.［技能］　さまざまな価値観に対応できる柔軟性を身につける。（○） 4.［関心・意欲・態度］　社会に貢献する自明観と責任感をもって、積極的に行動することができる。（◎）

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
提出物(ポートフォリオ)	20	20	20	40	100
合　計	20	20	20	40	100

成績評価と割合	ポートフォリオの提出(100%)で評価する。 3年間で、(1)行事参加、(2)環境整備活動、(3)学会・研修会・シンポジウムへの参加等をおこない、ポートフォリオを提出する。
テキスト	なし
参考書・教材	特に指定はしませんが、学会などの催し、研究会などは案内します。 日頃から、教育･政治･経済など社会情勢などを知るための印刷物（新聞、関連誌）を身近な教材にしてください。

内容	
実施回	授業内容・目標
	方法：ポートフォリオの提出(100%)で評価する。 それぞれの活動を (1)行事参加 (2)環境整備活動 (3)学会・研修会、シンポジウムなどへの参加 の3分野に分類し、 3年間で (1)行事参加は90%以上 (2)環境整備活動は60%以上 (3)学会・研修会・シンポジウムなどへの参加は3回以上 ポートフォリオを提出する。

時間外での学習	社会活動演習の種類によって、事前準備・学修が必要になってきます。 詳細については担当教員より連絡があります。
受講学生へのメッセージ	社会活動に積極的に参加することによって、大学で学ぶ知識や技術を統合し、主体的・協同的な姿を備えた保育者になることを目的としています。 オフィスアワーは各教員の時間帯を参照。そのほか、必要な時にチューターに相談してください。

社会活動演習（デザイン美術学科）	教養科目		1～2年通年	
	1単位		演習	30時間

［教員］: 田中　久志

［関連する資格・履修制限等］:

授業内容	短大及び地域で行われる社会活動や、本学が認める地域でのボランティア活動、デザイン・美術関係の学会・研修会に参加・活動し、社会活動演習ノートを作成する。
授業方法	学内・学外での活動に参加し、その内容について指定された用紙に記載していきます。
到達目標	1.［知識・理解］　社会の一員としての知識、社会的活動の意義を理解できる。　(◎) 2.［思考・判断・表現］　社会の一員として、ボランティア活動に必要な考えを持ち、行動することができる。　(○) 3.［技能］　身に着けた技能を社会のために生かすことができる。　(○) 4.［関心・意欲・態度］　探究心を持ち、自ら他者の手助けをする意思を持ち、行動することができる。　(○)

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
社会活動	30	20	25	－	75
社会活動記録ノート	－	－	－	25	25
合　計	30	20	25	25	100

成績評価と割合	社会活動 75%、社会活動記録ノート 25% の合計100%で評価します。 ※社会活動記録ノートがないと評価できません。
テキスト	なし
参考書・教材	なし

内容	
実施回	授業内容・目標
	2年間において、下記のいずれかの社会活動に15回相当以上参加し、そのレポートを提出することで単位を認定します。 ＜社会活動の内容＞　(30h) 1.県や市町村等の主催する社会的活動への参加 2.各種団体主催のボランティア活動への参加 3.地域や学内で行われる行事や活動への参加 4.小・中・高等学校等での指導や補助 5.自主的な清掃活動 6.その他教員が推奨する社会的活動等 ＜報告書の提出＞　(15h) 社会活動後、2週間以内に社会活動記録ノートをチューターに提出する。 ＊上記以外の活動に参加する場合は、社会活動演習として認められるか、事前にチューターを通して確認してください。

時間外での学習	学外活動に参加する場合は、学内の掲示板や地域の情報誌などを活用して情報収集をしましょう。 また、社会活動記録ノート提出の期日が過ぎるとその活動が無効になり、評価できません。提出期限を守りましょう。
受講学生へのメッセージ	社会活動やボランティア等の意義を理解し、積極的に参加してください。 オフィスアワーは、各学年のクラスチューター毎の時間になります。

社会活動演習（音楽総合学科）	教養科目		1～2年通年	
	1単位		演習	30時間

［教員］: 服部　篤典

［関連する資格・履修制限等］:

授業内容	社会活動、ボランティア等への参加及びレポートの作成
授業方法	活動参加及びレポート作成
到達目標	1.［知識・理解］　地域にある児童施設、高齢者施設などで専門分野を活かした指導や援助活動ができる。（○） 2.［思考・判断・表現］　各種団体が主催するボランティア活動の意義を理解し、自ら参加できる。（○） 4.［関心・意欲・態度］　自ら他人の手助けをする意思を持ち、ボランティア活動ができる。（◎）

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
提出レポート	25	25	－	－	50
活動に取り組む姿勢	－	－	－	50	50
合　計	25	25	－	50	100

成績評価と割合	提出レポート 50%、活動に取り組む姿勢 50% の合計100%で評価します。 レポート提出のない学生、参加回数が15回に満たない学生には単位を与えません。
テキスト	ありません。
参考書・教材	その都度配布します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1-15	※2年間において、下記のいずれかの社会活動に15回相当以上参加し、そのレポートを提出することで、単位を認定します。 ＜社会活動の内容＞ 1.県や市町村等の主催する社会的活動への参加 2.各種団体主催のボランティア活動への参加 3.地域で行われる行事や活動への参加 4.保育施設、幼稚園、小・中・高等学校等での指導や補助 5.自主的な清掃活動 6.その他のボランティア活動等 ＜報告書の提出＞ 任意の形式でレポートを提出する。 氏名、ボランティアに行った月日、内容、場所を明記する。

時間外での学習	社会活動演習は、授業として行うものではありません。 全て授業外で自ら参加する活動です。
受講学生へのメッセージ	自主的に取り組む授業となりますので、自分で記録をその都度残すようにしてください。 オフィスアワーは、各チューターの指定時間と場所になります。

社会活動演習（歯科衛生学科）	教養科目		1～3年通年	
	1単位		演習	30時間
［教員］: 石川　隆義				
［関連する資格・履修制限等］:				

授業内容	短大及び地域で行われる社会活動や、本学が認める地域でのボランティア活動、歯科医学関係の学会・研修会、地域保健活動に参加・活動し、社会活動演習日誌を作成する。
授業方法	学内・学外での活動に参加し、その内容について指定された用紙に記載していきます。
到達目標	1.［知識・理解］　社会人に求められる社会変化への対応や地域への貢献などに必要な知識を身につけることができる。（◎） 2.［技能］　社会人に必要なコミュニケーション能力や社会生活の基本となる技能についてその基礎を身につける事ができる。（◎） 3.［関心・意欲・態度］　学修内容に興味や関心を持ち、見通しをもって主体的、意欲的に取り組む事ができる。（○）

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
社会活動演習日誌内容	42	－	42	－	84
社会活動演習日誌提出状況	－	－	－	16	16
合　計	42	－	42	16	100

成績評価と割合	社会活動演習日誌内容　84%　＊7点(1回)×12回(A:7点　B:6点　C:5点) 日誌の提出状況　16%　の合計100%で評価します。 実施日より3週間以上経過して日誌を提出した場合には減点します。
テキスト	なし
参考書・教材	なし

内容	
実施回	授業内容・目標
	歯科衛生学科3年間で、(1)学内活動　(2)学外活動の2分野において社会活動演習を行います。 (1)学内活動･･･3年間で7回以上参加　(内容によって参加学年・人数を限定することがあります。) 該当行事：FSC(ファーストステップキャンパス) みずき祭（前夜祭と本番で1回) 研修旅行（2年生) オープンキャンパス その他（その他の行事予定はその都度、掲示などで連絡します。） (2)学外活動･･･3年間で5回以上参加（内容によって参加学年・人数を限定することがあります。） 該当行事：十万石まつりなどの地域で開催されている行事へのボランティア参加 その他のボランティア参加（歯科衛生学科長が認めたもの) 該当研修会・学会：日本歯科衛生士会・岐阜県歯科衛生士会主催の学会・研修会 日本歯科医師会・岐阜県歯科医師会主催の学会・研修会 教員が推奨する各種学会・研修会 （学会等の予定はその都度掲示などで連絡します。） ＊上記以外の活動に参加する場合は、社会活動演習として認められるか、事前にチューターを通して確認してください。 注意事項：上記活動に参加後、3週間以内に社会活動演習日誌をチューターへ提出してください。 原則、日誌は実施後から1か月以内の提出とします。 ＊実施日より3週間を経過して日誌を提出した場合には減点対象となります。 日誌提出後、所定欄にチューターより検印をもらうと社会活動として認定されます。

時間外での学習	学外活動に参加する場合は、学内の掲示板や地域の情報誌などを活用して情報収集をしましょう。 また、日誌提出の期日が過ぎるとその活動が無効になり、評価できません。提出期限を守りましょう。
受講学生へのメッセージ	地域に貢献できるような活動への参加を期待します。主体的に取り組んでください。 オフィスアワーは、各学年のクラスチューターの時間になります。

社会活動演習（看護学科）	教養科目		1～3年通年	
	1単位		演習	30時間
［教員］: 我部山　キヨ子				
［関連する資格・履修制限等］:				

授業内容	短大や地域の市町村・県などの主催する社会活動や地域医療活動に参加することにより、地域とその医療の維持・向上に貢献すると共に地域住民とのコミュニケーションの機会とする。 また、各種団体主催のボランティア行事にも参加する。さらに、学会・研修会に参加し、自己学習しながら看護の専門性を学ぶ機会とする。
授業方法	活動内容により異なるが、事前学習や事前準備をし、活動後には活動記録を作成して学びの確認を行う。
到達目標	1.［知識・理解］　社会活動の意義を理解し、社会人としての知識を活用して活動に参加できる。（◎） 2.［思考・判断・表現］　地域で生活する人々と交流し、さまざまな人の価値観や生き方に触れることで思考力・判断力を高めると共に、活動の中で自己の考えを表現できる。（○） 3.［技能］　地域で活動する人々とのコミュニケーション能力と協働能力の必要性を理解できる。（△） 4.［関心・意欲・態度］　社会活動に関心を持ち積極的に諸活動に参加できる。（○）

観点別評価

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
レポート	50	20	10	20	100
合　計	50	20	10	20	100

成績評価と割合	事前レポート 30%、活動終了後の活動記録及びレポート 70% の合計 100% で評価します。
テキスト	ありません。
参考書・教材	活動内容により必要時提示します。

内容	
実施回	授業内容・目標
	看護学科3年間で、 （1）学内活動 （2）学外・地域活動 （3）学会・研修会およびシンポジウム などに参加して、社会活動用紙に自らの行動の振り返りを記録します。 3年間で6回以上（30時間以上）参加し、社会活動演習で学んだことをまとめて社会活動記録を作成し考察します。 ［課題］興味のある社会活動について、情報収集し、計画的に参加する。（2h） ［課題］自ら参加した社会活動の意義を考える。（2h） ［課題］3年間のあいだに参加した社会活動を振り返り、その学びを統合する。（2h） ［課題］レポートを作成する。（2h）

時間外での学習	社会活動演習は全て自ら企画・参加する活動です。
受講学生へのメッセージ	積極的に社会活動に参加することで学内授業では学べない多くの知恵や知識を身につけてください。 ボランティア活動への積極的参加を期待します。 オフィスアワーは各チューター毎の時間設定となります。

基礎教養特講	教養科目		1～3年通年	
	1単位		演習	30時間
[教員]：茂木　七香・矢田貝　真一				
[関連する資格・履修制限等]：				

授業内容	社会人として必要となる基礎的・汎用的能力や論理的思考力・創造力の基盤となる知識について、中等教育までに学習した内容の定着や深化を図り、一般的な社会常識なども含めて学びます。中心となる内容として、専門科目の学修につながる幅広い基礎的知識、他の教養科目や専門科目を学ぶ際に必要となる基本的知識、一般的な社会人に求められる常識的な知識などを学んでいきます。
授業方法	復習のための確認問題に取り組み、その解説、さらに定着を図るための練習問題に取り組むという流れで授業を展開します。それぞれがしっかりと予習や復習に取り組んだ上でのぞんでください。この授業では、SA（スチューデント・アシスタント）の学生がサポートにあたります。
到達目標	1.[知識･理解]　専門分野を学ぶ基盤となるとともに社会人に教養として求められる知識を身につける。（◎） 2.[思考･判断･表現]　社会人に求められる教養としての思考力や判断力を身につける。（○） 3.[技能]　社会人に求められる教養の一つとして、知的操作や技法の基礎を身につける。（△） 4.[関心･意欲･態度]　自己の目標や状況に応じて、意欲を持って主体的に学修に取り組むことができる。（○） （◎・○・△は、教養科目のDP・到達指標との結びつきの強さを示しています。）
観点別評価	知識・理解：試験 40、学修記録 10、学修成果の自己評価 －、受講態度(学修･提出等の状況) －、合計 50 思考・判断・表現：試験 10、学修記録 10、学修成果の自己評価 －、受講態度(学修･提出等の状況) －、合計 20 技能：試験 －、学修記録 5、学修成果の自己評価 5、受講態度(学修･提出等の状況) －、合計 10 関心・意欲・態度：試験 －、学修記録 －、学修成果の自己評価 10、受講態度(学修･提出等の状況) 10、合計 20 合計：試験 50、学修記録 25、学修成果の自己評価 15、受講態度(学修･提出等の状況) 10、合計 100
成績評価と割合	試験 50%、学修記録 25%、学修成果の自己評価 15%、受講態度(学修･提出等の状況) 10% の合計 100%で評価します。 前期と後期で15回以上受講し、かつ試験を受けないと単位は修得できません。
テキスト	授業で指示します。
参考書・教材	授業で指示します。その他必要な資料は配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
第1回	【前・後期】オリエンテーション （社会で必要な教養について、学修の進め方や教材について、基礎確認テスト、他） [準備・課題]確認テストの復習と次時内容の予習を確実に行う（3～5h）
第2回	【前期】世界史･思想文化史と難読漢字の定着と発展 【後期】地理１・漢字１の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う（3～5h）
第3回	【前期】方程式・同音異義語の定着と発展 【後期】式の計算１・漢字２の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う（3～5h）
第4回	【前期】政治と憲法・同訓異義語の定着と発展 【後期】地理２・漢字３の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う（3～5h）
第5回	【前期】文章題１・同義語と対義語の定着と発展 【後期】式の計算２・漢字４の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う（3～5h）
第6回	【前期】経済と福祉・ことわざと故事成語の定着と発展 【後期】日本史１・漢字５の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う（3～5h）
第7回	【前期】文章題２・四字熟語１の定着と発展 【後期】文字式・漢字６の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う（3～5h）
第8回	【前期】社会生活・四字熟語２の定着と発展 【後期】日本史２・漢字７の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う（3～5h）
第9回	【前期】図形・慣用表現と敬語表現の定着と発展 【後期】式の展開と因数分解・同字異読語の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習とこれまで学んだ内容の全体について復習を行う（4～6h）
第10回	【前・後期】まとめ(第1回～9回までの学修の確認と定着) [準備・課題]学んだ内容の総合的な復習を行う（2～6h）

時間外での学習	[準備・課題]として示した内容、( )の標準学修時間をめどとして確実に取り組みましょう。 質問等があれば、研究室(A306：A号館3F)へどうぞ。
受講学生へのメッセージ	この授業の単位取得には、通算15回以上（年度や前後期は問いません）参加して、まとめで行われる試験（前期又は後期のどちらか）に合格する必要があります。内容としては、後期から次年度の前期まで受講して完結するようになっています。授業での学修内容の理解と定着を図るため、できるだけ連続して参加しましょう。 オフィスアワーはA306で毎週水曜日の18：10からです。単位取得をしない場合は自由に参加できます。

社会人教養特講	教養科目		1～3年通年	
	1単位		演習	30時間

[教員]：茂木　七香・矢田貝　真一

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容	社会人として必要となる基礎的・汎用的能力や論理的思考力・創造力の基盤となる知識について、中等教育までに学習した内容の定着や深化を図り、一般的な社会常識なども含めて学びます。中心となる内容として、専門科目の学修につながる幅広い基礎的知識、他の教養科目や専門科目を学ぶ際に必要となる基本的知識、一般的な社会人に求められる常識的な知識などを学んでいきます。
授業方法	復習のための確認問題に取り組み、その解説、さらに定着を図るための練習問題に取り組むという流れで授業を展開します。それぞれがしっかりと予習や復習に取り組んだ上でのぞんでください。この授業では、SA（スチューデント・アシスタント）の学生がサポートにあたります。
到達目標	1.[知識･理解]　専門分野を学ぶ基盤となるとともに社会人に教養として求められる知識を身につける。（◎） 2.[思考･判断･表現]　社会人に求められる教養としての思考力や判断力を身につける。（○） 3.[技能]　社会人に求められる教養の一つとして、知的操作や技法の基礎を身につける。（△） 4.[関心･意欲･態度]　自己の目標や状況に応じて、意欲を持って主体的に学修に取り組むことができる。（○） （◎・○・△は、教養科目のDP・到達指標との結びつきの強さを示しています。）
観点別評価	下表
成績評価と割合	試験 50%、学修記録 25%、学修成果の自己評価 15%、受講態度(学修･提出等の状況) 10% の合計 100%で評価します。 前期と後期で15回以上受講し、かつ試験を受けないと単位は修得できません。
テキスト	授業で指示します。
参考書・教材	授業で指示します。その他必要な資料は配付します。

	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
試験	40	10	－	－	50
学修記録	10	10	5	－	25
学修成果の自己評価	－	－	5	10	15
受講態度(学修･提出等の状況)	－	－	－	10	10
合　計	50	20	10	20	100

内容	
実施回	授業内容・目標
第1回	【前・後期】オリエンテーション （社会で必要な教養について、学修の進め方や教材について、基礎確認テスト、他） [準備・課題]確認テストの復習と次時内容の予習を確実に行う（3～5h）
第2回	【前期】世界史･思想文化史と難読漢字の定着と発展 【後期】地理１・漢字１の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う（3～5h）
第3回	【前期】方程式・同音異義語の定着と発展 【後期】式の計算１・漢字２の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う（3～5h）
第4回	【前期】政治と憲法・同訓意義語の定着と発展 【後期】地理２・漢字３の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う（3～5h）
第5回	【前期】文章題１・同義語と対義語の定着と発展 【後期】式の計算２・漢字４の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う（3～5h）
第6回	【前期】経済と福祉・ことわざと故事成語の定着と発展 【後期】日本史１・漢字５の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う（3～5h）
第7回	【前期】文章題２・四字熟語１の定着と発展 【後期】文字式・漢字６の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う（3～5h）
第8回	【前期】社会生活・四字熟語２の定着と発展 【後期】日本史２・漢字７の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う（3～5h）
第9回	【前期】図形・慣用表現と敬語表現の定着と発展 【後期】式の展開と因数分解・同字異読語の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習とこれまで学んだ内容の全体について復習を行う（4～6h）
第10回	【前・後期】まとめ(第1回～9回までの学修の確認と定着) [準備・課題]学んだ内容の総合的な復習を行う（2～6h）

時間外での学習	[準備・課題]として示した内容、( )の標準学修時間をめどとして確実に取り組みましょう。 質問等があれば、研究室(A306：A号館3F)へどうぞ。
受講学生へのメッセージ	この授業は、平成27年度以前の入学生しか受講できません。また単位取得には、通算15回以上参加して、まとめで行われる試験（前期又は後期のどちらか）に合格する必要があります。授業では、学修内容の理解と定着を図るため、できるだけ連続して参加しましょう。 オフィスアワーはA306で毎週水曜日の18：10からです。単位取得をしない場合は、自由に参加できます。